

社会医療法人 蘇西厚生会

理 念

私たちは、地域中核の社会医療法人として地域住民の皆様に、安全で質の高い医療・福祉を効率的かつ継続的に提供する。

基 本 方 針

私たちは、医療における安全を重視し、患者さん中心の根拠に基づいた医療・福祉サービスを提供します。

私たちは、患者さんや利用者様のプライバシーを守り、権利を尊重します。

私たちは、経営の安定と組織の活性化を図り、職員の働きがいと生活が安定し向上するよう努力します。

行 動 指 針

「和の精神」

信頼と協力は明るい職場をつくる
あい携えて 共に心からの和を誓おう

「信用の向上」

医療機関の生命は信用である
真心で人に接し 熱意をもって仕事に当たり
信用の向上に努めよう

「たくましい実行力」

明日を創造するのは 実行力である
信念と勇気をもって仕事を推し進めよう

1. 沿革

明治 35 年	松波病院開設
明治 44 年	加納町病院として再開設
昭和 8 年	松波外科医院開設
昭和 22 年	松波病院 (20 床) 開設 [医院廃止]
昭和 32 年	医療法人蘇西厚生会設立
昭和 52 年	CT 装置導入 (国内 3 番目)
昭和 54 年	松波病院病床数増床 (250 床)
昭和 57 年 4 月 1 日	託児所エンゼル開設
昭和 63 年 2 月 1 日	松波総合病院 (437 床) 新築移転・開設 コンピューターによるオーダーリングシステム開始 MRI (1.5 テスラ) 導入 (東海地区初) 松波病院 (250 床) 廃止 松波総合病院老人保健施設 (146 床) 開設 松波総合病院附属診療所 (19 床) 開設
平成 4 年 1 月 1 日	笠松町在宅介護支援センターまつなみ受託
平成 6 年 4 月 1 日	臨床研修病院指定
平成 7 年	体外受精成功 (県内初)
平成 7 年 12 月 1 日	日本内科学会認定医制度教育病院指定
平成 8 年 12 月 19 日	日本医療機能評価機構 病院機能評価試行受審
平成 9 年 11 月 28 日	生体部分肝移植手術成功 (国内の民間病院初)
平成 10 年 4 月 1 日	心臓血管外科開設
平成 10 年 9 月 1 日	まつなみ訪問看護ステーション開設 生体部分肝移植手術 (施設基準) 取得
平成 10 年 11 月 1 日	開放型病院 (施設基準) 取得
平成 11 年 6 月 1 日	神経内科開設
平成 11 年 7 月 1 日	ペインクリニック外来開設
平成 12 年 1 月 1 日	松波総合病院患者家族宿泊施設新設 (定員 4 部屋 8 名)
平成 12 年 4 月 1 日	居宅介護支援事業所まつなみ開設
平成 12 年 10 月 1 日	形成外科開設
平成 12 年 12 月 31 日	夜間一般外来廃止
平成 14 年 2 月 1 日	院外処方箋発行開始
平成 14 年 6 月 6 日	一般病床 (436 床) として届出
平成 14 年 6 月 30 日	精神科廃止
平成 14 年 7 月 31 日	松波総合病院附属診療所廃止 松波総合病院附属診療所通所リハビリテーション廃止
平成 14 年 8 月 1 日	まつなみ健康増進クリニック (診療センター、人間ドック・健診センター、人工透析センター) 開設
平成 14 年 10 月 1 日	16 列型マルチスライス CT 装置導入 (国内 2 番目)
平成 14 年 11 月 1 日	松波総合病院居宅介護支援事業所開設
平成 15 年 1 月 1 日	回復期リハビリテーション病棟 (3 階病棟、55 床) 開設
平成 15 年 7 月 15 日	禁煙宣言病院 (敷地内・建物内完全禁煙 含クリニック)、禁煙外来開設

平成 16 年 1 月 26 日	日本医療機能評価機構 病院機能評価 Ver4 認定
平成 16 年 4 月 1 日	脳下垂体外科専門外来開設 新医師臨床研修病院指定
平成 16 年 6 月 2 日	女性外来開設
平成 16 年 10 月 1 日	呼吸器内科開設
平成 16 年 11 月 1 日	不妊・遺伝相談外来開設
平成 17 年 1 月 17 日	まつなみ在宅総合ケアセンター開設 まつなみ訪問介護ステーション開設
平成 17 年 2 月 1 日	救急救命集中治療センター開設
平成 17 年 10 月 29 日	人間ドック・健診施設機能評価認定
平成 18 年 4 月 1 日	DPC（診断群分類別定額支払い方式）対象病院認可
平成 19 年 3 月 22 日	特定医療法人承認
平成 19 年 6 月 1 日	託児所エンゼル新築移転
平成 19 年 9 月 22 日	肩・スポーツ外来開設
平成 19 年 12 月 1 日	集中治療室（ICU）開設 病床数減（434 床）
平成 20 年 2 月 1 日	重症心疾患患者集中治療室（CCU）開設 病床数減（432 床）
平成 20 年 3 月 31 日	口腔外科廃止
平成 20 年 4 月 1 日	卒後臨床研修評価機構認定病院認定
平成 20 年 10 月 1 日	社会医療法人認定 法人管理センター新築移転
平成 21 年 1 月 1 日	放射線治療装置導入（放射線治療再開）
平成 21 年 1 月 26 日	日本医療機能評価機構 病院機能評価 Ver5 認定
平成 22 年 2 月 1 日	ストーマ外来・女性肛門外来開設
平成 22 年 3 月 1 日	320 列マルチスライス CT 装置導入（県内 2 番目）
平成 22 年 12 月 4 日	外国人看護師候補者 2 名受入（インドネシア：女性 2 名）
平成 22 年 12 月 12 日	内視鏡手術支援ロボット『ダヴィンチ導入』（国内 3 番目）
平成 23 年 2 月 25 日	ドトールコーヒーショップ松波総合病院店 開店
平成 23 年 3 月 30 日	国土交通省 短期入院協力病院 指定
平成 23 年 4 月 20 日	次世代育成対策支援法第 13 条に基づき基準適合一般事業主 認定
平成 23 年 6 月 1 日	松波総合病院クリニカルインディケーター（医療の質の指標）公開
平成 23 年 8 月 22 日	岐阜 DMAT 指定病院 指定
平成 23 年 10 月 26 日	災害拠点病院（地域災害医療センター）指定
平成 24 年 1 月 6 日	外国人看護師候補者 2 名受入（インドネシア：男性 1 名、女性 1 名）
平成 24 年 4 月 26 日	松波総合病院クリニカルインディケーター（医療の質の指標）更新
平成 24 年 6 月 1 日	地域医療介護連携センター 設置
平成 24 年 7 月 24 日	体外衝撃波疼痛治療装置「ドルニエ Epos Ultra」導入
平成 24 年 8 月 31 日	地域医療支援病院に承認
平成 25 年 2 月 2 日	内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ Si」導入（国内 2 番目、国内 2 例目、岐阜県下 1 例目） ※「ダヴィンチ S」からのバージョンアップ
平成 25 年 7 月 4 日	手術支援ロボット「ダヴィンチ Si」を使用した肝臓切除術 県内初成功
平成 25 年 7 月 31 日	松波総合病院クリニカルインディケーター（医療の質の指標）更新
平成 25 年 9 月 1 日	まつなみリサーチパーク 設立
平成 25 年 10 月 17 日・18 日	日本病院機能評価機構 病院機能評価（3rdG：Ver.1.0）受審
平成 25 年 11 月 1 日	松波総合病院障害者短期入所事業所 開設

平成 26 年 1 月 1 日	電子カルテシステムの導入
平成 26 年 1 月 6 日	日本病院機能評価機構 病院機能評価 (3rdG: Ver.1.0) 「一般病院 2 (200 床以上 500 床未満) (主たる機能)」「リハビリテーション病院 (副機能)」認定
平成 26 年 1 月 30 日	手術支援ロボット「ダヴィンチ Si」を使用した子宮全摘出手術 院内第 1 例目実施
平成 26 年 2 月 19 日	特定非営利活動法人卒後臨床研修評価機構による臨床研修評価 受審
平成 26 年 3 月 25 日	外国人看護師候補者 1 名 看護師国家試験合格 (インドネシア: 女性 1 名)
平成 26 年 7 月 22 日	松波総合病院北館(NORTH WING)新築開設 (許可病床数 445 床・稼働病床数 432 床) 北館内にハイブリッド手術室を完備 MRI(3.0 テスラ) 導入 (サイレントスキャン 県内 1 番目)
平成 26 年 7 月 29 日	ドクターヘリでの救急搬送第 1 号
平成 26 年 9 月 1 日	HCU 開設 (20 床) 地域包括ケア病棟開設 (55 床)
平成 26 年 12 月 18 日	学校法人朝日大学との教育、研究、医療活動に関する包括的連携協定の締結
平成 27 年 4 月 1 日	松波総合病院南館 (SOUTH WING) 改修に伴い、病床数増床 (501 床)
平成 27 年 4 月 28 日	学校法人聖徳学園との包括的な連携協定を締結
平成 27 年 5 月 1 日	障害者病棟を開設 (59 床)
平成 27 年 6 月 16 日	仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組む企業として 2015 年度岐阜県で第 1 号くるみんマーク取得 (4 度目の認定)
平成 27 年 7 月 1 日	岐阜県子育て支援企業に登録
平成 27 年 8 月 1 日	ブライダルチェック外来 開設
平成 27 年 8 月 21 日	まつなみリサーチパーク「在宅医療支援システム」特許取得
平成 27 年 9 月 7 日	まつなみリサーチパーク 科学研究費助成金取扱規程第 2 条第 8 項に規程する研究機関に指定 (県内初)
平成 27 年 10 月 30 日	まつなみリサーチパーク「採血・検査一体型デバイス」特許取得
平成 27 年 11 月 11 日・12 日・13 日	第 26 回 VHJ (Voluntary Hospitals of Japan) 研究会職員交流会主催
平成 27 年 12 月 22 日	学校法人神野学園 岐阜医療科学大学との連携包括協定の締結
平成 28 年 1 月 19 日	ヒト型ロボット「Pepper(ペッパー)」を導入
平成 28 年 3 月 18 日	まつなみリサーチパーク「消化管デバイス」特許取得
平成 28 年 4 月 12 日	『夜尿症外来』をまつなみ健康増進クリニックに開設
平成 28 年 5 月 15 日	熊本地震の被災地医療支援のために災害派遣医療チーム (DMAT) を派遣
平成 28 年 7 月	『非接触・無拘束ベッド見守りシステム』を介護老人保健施設に導入
平成 28 年 9 月 6 日	DMAT 本部機能認定
平成 29 年 2 月 23 日	岐阜県子育て支援エクセレント企業に認定
平成 29 年 3 月 29 日	育児ほほえみ相談事業委託契約締結
平成 29 年 4 月 1 日	東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センターの社会連携講座「肥満メタボリックケア」において、東京大学、社会医療法人河北医療財団、ライザップ株式会社との共同研究 (肥満やサルコペニアに関して) を開始
平成 29 年 4 月 3 日	英語版・中国語版ホームページを開設
平成 29 年 10 月 1 日	救急科 (救急総合診療科) を新設
平成 29 年 10 月 3 日	羽島郡広域連合消防本部と共同で病院派遣型の救急ワークステーションの運用を開始
平成 29 年 11 月 1 日	発達障害外来を開設
平成 29 年 11 月 19 日	『輸血機能評価認定施設 (I&A 制度認定施設)』岐阜県内民間病院第一号認定

平成 30 年 3 月 13 日	JMIP(外国人患者受入れ医療機関認定制度)に認定(県内2番目)
平成 30 年 4 月 1 日	卒後臨床研修評価機構(JCEP)よりエクセレント賞を受賞
平成 30 年 9 月 1 日	無菌治療室(クリーンルーム)を設置
平成 31 年 1 月 30 日	『岐阜医療圏地域コンソーシアム』協定締結
平成 31 年 2 月 21 日	『健康経営優良法人ホワイト 500』に認定
平成 31 年 3 月 1 日	日本病院機能評価機構 病院機能評価(3rdG:Ver.2.0) 一般病院 2(200床以上500床未満)(主たる機能)「リハビリテーション病院(副機能)」認定
平成 31 年 4 月 27 日	日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会 最優秀ベストプラクティス賞 受賞
令和 元年 8 月 5 日	レストラン『然の膳 松波総合病院店』開店
令和 元年 9 月 9 日	松波総合病院 立体駐車場 完成
令和 元年 9 月 16 日	台風 15 号の被災地支援に全日本病院医療支援班(AMAT)を千葉県に派遣
令和 元年 10 月 1 日	松波総合病院 ノースウィング増築 完成 リンパ浮腫外来 嚥下外来 開設
令和 2 年 1 月 11 日	まつなみ医療職体験会 2020 を開催
令和 2 年 2 月 26 日	『特定行為研修指定研修機関』に指定
令和 2 年 3 月 2 日	『健康経営優良法人』に認定
令和 2 年 3 月 26 日	自院救急車を新規購入
令和 2 年 4 月 1 日	松波総合病院 柔道部創部 松波総合病院メディカルコントロール協議会設立 地域救急搬送支援事業開始
令和 2 年 6 月 5 日	オンライン面会、面談システムの運用開始
令和 2 年 7 月 1 日	令和 2 年度献血推進功労者表彰
令和 2 年 11 月 11 日	Claris Japan Excellence Award 2020 受賞
令和 2 年 11 月 25 日	岐阜県介護人材育成事業者認定制度<ぎふ・いきいき介護事業者> G1(グレード1)認定
令和 2 年 12 月 1 日	発熱外来ユニット「Gifu CUBE」運用開始
令和 3 年 3 月 22 日	電子カルテシステム 更新
令和 3 年 4 月 1 日	こころの発達診療センター開設 へき地医療拠点病院の指定
令和 3 年 6 月 16 日	『災害時等における一時的な避難場所としての施設提供及び使用に関する協定』を締結
令和 3 年 7 月 1 日	介護・在宅本部設置
令和 3 年 11 月 12 日	Claris Japan Excellence Award 2021 受賞
令和 3 年 12 月 20 日	熱分解装置『NEO SONIC 2000M』を導入
令和 4 年 1 月 19 日	高周波式ハイパーサーミアシステム『アスクーフ 8』の導入
令和 4 年 4 月 28 日	令和 4 年度 清流アスリート・パラスポーツ清流アスリート強化指定証交付
令和 4 年 5 月 13 日	入院中の Wi-Fi 接続サービスの提供開始
令和 4 年 6 月 1 日	松波総合病院 東エクステンション棟 完成
令和 4 年 6 月 8 日	FFRCT 検査の開始
令和 4 年 6 月 28 日	看護部棟 完成
令和 4 年 10 月 5 日	経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)の初症例実施
令和 4 年 11 月 11 日・12 日	第 22 回日本クリニカルパス学会学術集会開催

2. 現 況

I 設備・機器概要

1. 診療主要装備

- ・ 超電導型全身用磁気共鳴コンピューター断層撮影装置 (MRI、1.5 テスラ)
- ・ 超電導型全身用磁気共鳴コンピューター断層撮影装置 (MRI、3.0 テスラ)
- ・ 16 列型マルチスライス CT 装置 Light Speed
- ・ 64 列型マルチスライス CT 装置
- ・ 256 列型マルチスライス CT 装置 Revolution
- ・ 心臓カテーテルエックス線撮影装置 (シネ・アンギオ) 2 基
- ・ 内視鏡手術支援ロボット ダヴィンチ X
- ・ 体外衝撃波疼痛治療装置「ドルニエ Epos Ultra」
- ・ 多軌道断層エックス線撮影装置
- ・ 泌尿器専用エックス線撮影装置
- ・ 骨密度エックス線測定装置
- ・ 乳房専用エックス線撮影装置
- ・ 歯科用パノラマエックス線撮影装置
- ・ ガンマカメラ・試料測定装置 (RI 検査室)
- ・ 血管造影撮影装置
- ・ 人工透析装置
- ・ 直線加速装置 (リニアック)
- ・ エックス線 TV 装置
- ・ 高周波式ハイパーサーミアシステム「アスクーフ 8」

2. 診療支援装備

- (1) コンピューターによるオーダーリングシステム
CPU:IBM RS-6000(2 基)、AS-400(1 基)
PC300PL 105 台、PC300GL 40 台、PC340 15 台 - 自動錠剤分包機にも連動
- (2) コージェネレーションシステム (都市ガス)
需要商用電源の一部補完、低コスト 24 時間空調、給湯
- (3) 三系統電源による無瞬断システム
手術等の場合の電源の緊急対応のセキュリティの確保

II 規模の概況

1. 総合病院

許可病床	501 床 (稼動病床 501 床)
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上 8 階 地下 1 階
(南館) 建築延面積	約 19,500 平方メートル
敷地面積	約 10,000 平方メートル
構造規模	鉄骨造 (S 造) 地上 7 階 ヘリポート
(北館) 建築延面積	約 18,800 平方メートル

敷地面積 約 13,400 平方メートル

2. 関連事業所他

(1) 介護老人保健施設

- ・ 入所定員 146 床 (内、ショートステイ 10 床)
- ・ 通所定員 40 人 (通所リハビリテーション)
- ・ 南館 2～4 階

(2) まつなみ健康増進クリニック

- ・ 1 階～2 階 診療センター
内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液・腫瘍内科、腎臓内科、小児科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、肛門科、皮膚科、形成外科、乳腺外科、リウマチ科、メンタルケア科(精神科)
- ・ 3 階 人間ドック・健診センター
- ・ 構造規模 鉄骨鉄筋コンクリート地上 3 階

(3) 人工透析センター (61 台)

- ・ 南館 1 階

(4) 松波総合病院介護老人保健施設 通所リハビリテーション

- ・ 南館 1 階

(5) まつなみケアプランセンター

(6) まつなみ訪問看護ステーション

(7) まつなみ訪問介護ステーション

(8) まつなみリサーチパーク

(9) その他の施設

- ・ 研修医宿舎 ルドン笠松 (11 室)
- ・ 看護師宿舎 ホワイトエンゼル 笠松 M ワンルームマンション 合計 2 棟 (88 室)
- ・ 託児所 エンゼル
- ・ その他 患者家族宿泊施設 4 室
熱分解装置「NEO SONIC 2000M」
- ・ 駐車場 外来患者用 約 511 台
透析患者専用 5 台
人間ドック専用 20 台

(10) サービス施設 (出店業者)

- ・ セブンイレブン 安田商事 (株)
- ・ レストラン 然の膳 (株) フードテックジャパン

【松波総合病院】

施設基準等と診療報酬（基本診療料）

2023.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2022/04/01	(情報通信) 第 37 号	情報通信機器を用いた診療に係る基準
2020/09/01	(一般入院) 第 79 号	急性期一般入院料 1 7 対 1 (7 病棟 294 床)
2018/04/01	(障害入院) 第 7 号	障害者施設等入院基本料 (1 病棟 59 床) ※注 9 に規定する 看護補助体制加算 30 対 1 (障害者病棟) 夜間看護補助体制加算 75 対 1 (障害者病棟)
2018/08/01	(総合 3) 第 6 号	総合入院体制加算 3
2020/04/01	(救急医療) 第 10 号	救急医療管理加算
2008/04/01	(超急性期) 第 7 号	超急性期脳卒中加算
2014/04/01	(診療録 1) 第 11 号	診療録管理体制加算 1
2022/04/01	(事補 1) 第 39 号	医師事務作業補助体制加算 1 15 対 1
2021/09/01	(急性看補) 第 3 号	急性期看護補助体制加算 (25 対 1 50%以上) ※夜間急性期看護補助体制加算 (100 対 1) ※夜間看護体制加算
2015/05/01	(特施) 第 10 号	特殊疾患入院施設管理加算
2006/10/01	(療) 第 21 号	療養環境加算
2006/12/01	(重) 第 47 号	重症者等療養環境特別加算
2018/09/01	(無菌 1) 第 9 号	無菌治療室管理加算 1
2021/05/01	(無菌 2) 第 6 号	無菌治療室管理加算 2
2019/05/01	(緩和) 第 15 号	緩和ケア診療加算
2022/04/01	(栄養) 第 4 号	栄養サポートチーム加算
2018/04/01	(医療安全 1) 第 2 号	医療安全対策加算 1 ※医療安全対策地域連携加算 1
2022/04/01	(感染対策 1) 第 16 号	感染防止対策加算 1
2012/04/01	(患者サポ) 第 32 号	患者サポート体制充実加算
2022/04/01	(重症初期) 第 2 号	重症患者初期支援充実加算
2022/04/01	(報告管理) 第 3 号	報告書管理体制加算
2009/09/01	(褥瘡ケア) 第 10 号	褥瘡ハイリスク患者ケア加算
2008/04/01	(ハイ妊娠) 第 17 号	ハイリスク妊娠管理加算
2009/04/01	(ハイ分娩) 第 2 号	ハイリスク分娩管理加算
2022/04/01	(地域分娩) 第 1 号	地域連携分娩管理加算
2010/04/01	(呼吸) 第 2 号	呼吸ケアチーム加算
2022/12/01	(術後疼痛) 第 2 号	術後疼痛管理チーム加算
2022/08/01	(後発使 2) 第 56 号	後発医薬品使用体制加算 2
2015/09/01	(病棟薬 1) 第 22 号	病棟薬剤業務実施加算 1
2016/04/01	(病棟薬 2) 第 2 号	病棟薬剤業務実施加算 2
2014/04/01	(データ提) 第 12 号	データ提出加算
2020/04/01	(入退支) 第 12 号	入退院支援加算 1 ※入院時支援加算 ※地域連携診療計画加算 ※総合機能評価加算
2017/06/01	(認知) 第 30 号	認知症ケア加算 1
2020/05/01	(せん妄) 第 26 号	せん妄ハイリスク患者ケア加算
2016/04/01	(精疾診) 第 4 号	精神疾患診療体制加算

2018/08/01	(排自支) 第 5 号	排尿自立支援加算
2020/04/01	(地医確保) 第 2 号	地域医療体制確保加算
2022/10/01	(看処遇 45) 第 1 号	看護職員処遇改善評価料 45
2018/11/01	(集 1) 第 3 号	特定集中治療室管理料 1 (8 床) ※早期離床・リハビリテーション加算 ※早期栄養介入管理加算
2020/11/01	(ハイケア 1) 第 7 号	ハイケアユニット入院医療管理料 1 (20 床)
2007/05/01	(小入 5) 第 10 号	小児入院医療管理料 5
2018/04/01	(回 1) 第 2 号	回復期リハビリテーション病棟入院料 1 (1 病棟 60 床) ※体制強化加算 1
2018/08/01	(地包ケア 2) 第 9 号	地域包括ケア病棟入院料 2 (60 床) ※看護職員配置加算 (50 対 1) ※看護補助者配置加算 (25 対 1)

施設基準等と診療報酬 (特掲診療科)

2023.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2022/04/01	(がん専栄) 第 4 号	外来栄養食事指導料の注 3 加算
2015/02/01	(糖管) 第 43 号	糖尿病合併症管理料
2010/04/01	(がん疼) 第 33 号	がん性疼痛緩和指導管理料
2010/04/01	(がん指イ) 第 2 号	がん患者指導管理料イ
2014/04/01	(がん指ロ) 第 7 号	がん患者指導管理料ロ
2018/08/01	(がん指ハ) 第 21 号	がん患者指導管理料ハ
2022/08/01	(がん指二) 第 14 号	がん患者指導管理料二
2016/04/01	(糖防管) 第 28 号	糖尿病透析予防指導管理料
2021/09/01	(小運指管) 第 39 号	小児運動器疾患指導管理料
2018/04/01	(乳腺ケア) 第 3 号	乳腺炎重症化予防・ケア指導料
2020/04/01	(婦特管) 第 23 号	婦人科特定疾患治療管理料
2022/04/01	(一妊管) 第 10 号	一般不妊治療管理料
2022/04/01	(生補管 1) 第 3 号	生殖補助医療管理料 1
2022/12/01	(二骨管 1) 第 31 号	二次性骨折予防継続管理料 1
2022/12/01	(二骨管 3) 第 83 号	二次性骨折予防継続管理料 3
2022/09/01	(下創管) 第 9 号	下肢創傷処置管理料
2012/04/01	(トリ) 第 12 号	院内トリアージ実施料
2020/04/01	(救搬看体) 第 2 号	救急搬送看護体制加算 1
2012/04/01	(放射診) 第 5 号	外来放射線照射診療料
2022/04/01	(外化診 1) 第 9 号	外来腫瘍化学療法診療料 1
2022/04/01	(外化連) 第 25 号	連携充実加算
1998/11/01	(開) 第 7 号	開放型病院共同指導料
2010/04/01	(ハイ I) 第 12 号	ハイリスク妊産婦共同管理料 (I)
2013/04/01	(がん指) 第 464 号	がん治療連携指導料
2020/04/01	(外排自) 第 5 号	外来排尿自立指導料
2010/04/01	(肝炎) 第 13 号	肝炎インターフェロン治療計画料
2022/04/01	(こ連指 II) 第 10 号	こころの連携指導料 (II)
2010/05/01	(薬) 第 4 号	薬剤管理指導料
2016/07/01	(電情) 第 26 号	検査・画像情報提供加算及び電子的診療

2008/04/01	(機安1) 第33号	医療機器安全管理料 1
2012/05/01	(在看) 第5号	在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料
2015/09/01	(在後病) 第9号	在宅療養後方支援病院
2016/08/01	(持血測1) 第16号	持続血糖測定器加算 皮下連続式グルコース測定
2020/06/01	(持血測2) 第6号	持続血糖測定器加算 (間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
2016/04/01	(遺伝検) 第3号	遺伝学的検査
2022/07/01	(BRCA) 第23号	BRCA1/2 遺伝子検査
2010/04/01	(HPV) 第36号	HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)
2019/01/01	(検Ⅳ) 第22号	検体検査管理加算 (Ⅳ)
2010/04/01	(血内) 第13号	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
2012/04/01	(歩行) 第5号	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
2012/04/01	(ヘッド) 第1号	ヘッドアップティルト試験
2010/04/01	(長) 第8号	長期継続頭蓋内脳波検査
2008/04/01	(神経) 第17号	神経学的検査
2016/05/01	(コン1) 第222号	コンタクトレンズ検査料 1
2006/04/01	(小検) 第2号	小児食物アレルギー負荷検査
2020/04/01	(経気凍) 第1号	経気管支凍結生検法
2008/04/01	(画2) 第8号	画像診断管理加算 2
2008/06/01	(ポ断) 第14号	ポジトロン断層撮影
2012/04/01	(C・M) 第226号	CT 撮影及び MRI 撮影 (16 列 CT)
2012/04/01	(C・M) 第228号	CT 撮影及び MRI 撮影 (1.5 テスラ MRI)
2014/07/01	(C・M) 第433号	CT 撮影及び MRI 撮影 (64 列 CT)
2017/04/01	(C・M) 第471号	CT 撮影及び MRI 撮影 (3 テスラ MRI)
2020/12/01	(C・M) 第563号	CT 撮影及び MRI 撮影 (64 列 CT)
2022/12/01	(C・M) 第608号	CT 撮影及び MRI 撮影 (270 列 CT)
2010/03/01	(冠動C) 第13号	冠動脈 CT 撮影加算
2022/04/01	(血予備断) 第2号	血流予備量比コンピューター断層撮影
2014/07/01	(心臓M) 第17号	心臓 MRI 撮影加算
2023/02/01	(乳房M) 第9号	乳房 MRI 撮影加算
2021/07/01	(頭部M) 第3号	頭部 MRI 撮影加算
2020/05/01	(全身M) 第2号	全身 MRI 撮影加算
2010/04/01	(抗癌処方) 第6号	抗癌性腫瘍剤処方管理加算
2008/04/01	(外化1) 第34号	外来化学療法加算 1
2008/04/01	(菌) 第58号	無菌製剤処理料
2019/08/01	(心Ⅰ) 第33号	心大血管疾患リハビリテーション料 (1) ※初期加算
2012/04/01	(脳Ⅰ) 第12号	脳血管疾患等リハビリテーション料 (1) 及び廃用症候群リハビリテーション料 (1) ※初期加算
2012/04/01	(運Ⅰ) 第12号	運動器リハビリテーション料 (1) ※初期加算
2012/04/01	(呼Ⅰ) 第23号	呼吸器リハビリテーション料 (1) ※初期加算
2010/09/01	(がんリハ) 第1号	がん患者リハビリテーション料
2018/04/01	(集コ) 第24号	集団コミュニケーション療法料
2020/04/01	(静圧) 第1号	静脈圧迫処置 (慢性静脈不全に対するもの)

2010/04/01	(エタ甲) 第 8 号	エタノールの局所注入 (甲状腺)
2010/04/01	(エタ副甲) 第 5 号	エタノールの局所注入 (副甲状腺)
2018/04/01	(人工腎臓) 第 15 号	人工腎臓
2018/04/01	(導入 1) 第 11 号	導入期加算 1
2014/03/01	(透析水) 第 38 号	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
2016/04/01	(肢梢) 第 13 号	下肢末梢動脈疾患指導管理加算
2017/07/01	(組再乳) 第 2 号	組織拡張器による再建手術 (乳房 (再建手術) の場合に限る。)
2022/12/01	(緊急固定) 第 13 号	緊急整復固定加算及び緊急挿入加算
2018/04/01	(後縦骨) 第 1 号	後縦靭帯骨化症手術 (前方進入によるもの)
2020/04/01	(椎酵注) 第 1 号	椎間板内酵素注入療法
2002/09/01	(脳刺) 第 7 号	脳刺激装置植込術 (頭蓋内電極植込術を含む。) 及び脳刺激装置交換術
2002/09/01	(脊刺) 第 5 号	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
2022/04/01	(癒着性脊髄) 第 1 号	癒着性脊髄くも膜炎手術 (脊髄くも膜剥離操作を行うもの)
2022/09/01	(仙神交便) 第 4 号	仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術 (便失禁)
2022/09/01	(仙神交膀) 第 2 号	仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術 (過活動膀胱)
2022/07/01	(緑内眼ド) 第 9 号	緑内障手術 (流出路再建術 (眼内法) 及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
2022/07/01	(緑内 ne) 第 6 号	緑内障手術 (濾過法再建術 (needle 法))
2018/11/01	(内下) 第 4 号	内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術
2010/04/01	(乳セ 1) 第 2 号	乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検 (併用)
2010/04/01	(乳セ 2) 第 3 号	乳がんセンチネルリンパ節加算 2 及びセンチネルリンパ節生検 (単独)
2016/10/01	(乳腫) 第 4 号	乳腺悪性腫瘍手術 (乳輪温存乳房切除術 (腋窩郭清を伴わないもの) 及び乳輪温存乳房切除術 (腋窩郭清を伴うもの))
2017/07/01	(ゲル乳再) 第 2 号	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術 (乳房切除後)
2016/04/01	(肺腫) 第 1 号	肺悪性腫瘍手術 (壁側・臓側胸膜全切除 (横隔膜、心膜合併切除を伴うもの) に限る。)
2018/04/01	(穿瘻閉) 第 1 号	食道縫合術 (穿孔、損傷) (内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、腎 (腎盂) 腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)
2020/04/01	(経特) 第 14 号	経皮的冠動脈形成術 (特殊カテーテルによるもの)
2021/03/01	(胸腔弁形) 第 5 号	胸腔鏡下弁形成術
2021/03/01	(胸腔下置) 第 5 号	胸腔鏡下弁置換術
2022/09/01	(カ大弁置) 第 5 号	経カテーテル弁置換術 (経皮的動脈弁置換術)
2010/04/01	(経中) 第 7 号	経皮的中隔心筋焼灼術
1998/04/01	(ペ) 第 13 号	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
2018/08/01	(ペリ) 第 9 号	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 (リードレスペースメーカー)
2014/05/01	(両ペ静) 第 10 号	両心室ペースメーカー移植術 (経静脈電極の場合) 及び両心室ペースメーカー交換術 (経静脈電極の場合)
2014/05/01	(除静) 第 12 号	植込型除細動器移植術 (経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術 (その他のもの) 及び経静脈電極抜去術
2014/05/01	(両除静) 第 10 号	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術 (経静脈電極の場合) 及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術 (経静脈電極の場合)

1998/04/01	(大) 第 9 号	大動脈バルーンパンピング法 (IABP 法)
2020/04/01	(経下肢動) 第 1 号	経皮の下肢動脈形成術
2022/04/01	(腹り傍側) 第 3 号	腹腔鏡下リンパ節群郭清術 (側方)
2021/02/01	(腹胃切支) 第 5 号	腹腔鏡下胃切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
2021/02/01	(腹側胃切支) 第 4 号	腹腔鏡下噴門側胃切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
2021/02/01	(腹胃全) 第 4 号	腹腔鏡下胃全摘術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
2019/02/01	(バ経静脈) 第 5 号	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
2011/07/01	(腹肝) 第 4 号	腹腔鏡下肝切除術
1998/09/01	(生) 第 1 号	生体部分肝移植術
2012/04/01	(腹臍切) 第 2 号	腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術
2015/01/01	(早大腸) 第 13 号	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
2022/04/01	(内小腸) 第 2 号	内視鏡的小腸ポリープ切除術
2022/04/01	(腹直腸切支) 第 7 号	腹腔鏡下直腸切除・切断術 (切除術、低位前方切除術及び切断術に限る) (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
2004/03/01	(腎) 第 18 号	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
2016/04/01	(腹腎尿支器) 第 2 号	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
2020/07/01	(膀胱ハ間) 第 8 号	膀胱水圧拡張術
2022/04/01	(精精採) 第 1 号	精巣内精子採取術
2013/09/01	(腹前支器) 第 3 号	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
2022/04/01	(体膜肺) 第 3 号	体外式模型人工肺管理料
2022/04/01	(周栄養) 第 3 号	周術期栄養管理実施加算
2016/10/01	(輸血 I) 第 15 号	輸血管理料 1
2016/10/01	(輸適) 第 31 号	輸血適正使用加算
2018/04/01	(貯輸) 第 4 号	貯血式自己血輸血管理体制加算
2012/06/01	(造設前) 第 21 号	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
1996/07/01	(麻管 1) 第 14 号	麻酔管理料 (1)
2010/08/01	(麻管 2) 第 5 号	麻酔管理料 (2)
2022/04/01	(周薬管) 第 2 号	周術期薬剤管理実施加算
2016/04/01	(高放) 第 24 号	高エネルギー放射線治療
2020/03/01	(病理診 2) 第 8 号	病理診断管理加算 2
2018/04/01	(悪病組) 第 1 号	悪性腫瘍病理組織標本加算

施設基準等と診療報酬 (入院時食事療養)

2023.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
1931/02/01	(食) 第 178 号	入院時食事療法 (I)

施設基準等と診療報酬 (その他の届出)

2023.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2022/04/01	(酸単) 第 12047 号	酸素の単価

施設基準等と診療報酬 (歯科)

2023.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2019/06/01	(病初診) 第 31 号	地域歯科診療支援病院歯科初診料
2021/08/01	(外来環 2) 第 143 号	歯科外来診療環境体制加算 2

2018/04/01	(医管)第 847 号	歯科疾患管理料の注 11 に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
2018/04/01	(歯リハ2)第 209 号	歯科口腔リハビリテーション料 2
2021/02/01	(歯 CAD)第 910 号	CAD / CAM 冠
2018/04/01	(補管)第 1583 号	クラウン・ブリッジ維持管理料

施設基準等と診療報酬 (その他の届出)

2023.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2022/04/01	(酸単)第 12067 号	酸素の単価

【まつなみ健康増進クリニック】

施設基準等と診療報酬 (基本診療科)

2023.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
		該当なし

施設基準等と診療報酬 (特掲診療科)

2023.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2022/04/01	(情報通信)第 39 号	情報通信機器を用いた診療に係る基準
2022/04/01	(外来感染)第 120 号	外来感染対策向上加算
2022/04/01	(連携強化)第 86 号	連携強化加算
2022/06/01	(サ強化)第 13 号	サーベイランス強化加算
2020/04/01	(外来栄養)第 6 号	外来栄養食事指導料の注 2 に規定する基準
2008/06/01	(糖管)第 12 号	糖尿病合併症管理料
2020/05/01	(遠隔ベ)第 21 号	心臓ペースメーカー指導管理料の注 5 に規定する遠隔モニタリング加算
2013/08/01	(がん疼)第 126 号	がん性疼痛緩和指導管理料
2013/11/01	(がん指イ)第 24 号	がん患者指導管理料イ
2014/04/01	(がん指ロ)第 8 号	がん患者指導管理料ロ
2017/06/01	(がん指ハ)第 19 号	がん患者指導管理料ハ
2022/08/01	(がん指ニ)第 13 号	がん患者指導管理料ニ
2012/04/01	(糖防管)第 8 号	糖尿病透析予防指導管理料
2017/07/01	(ニコ)第 13 号	ニコチン依存症管理料
2010/04/01	(肝炎)第 11 号	肝炎インターフェロン治療計画料
2016/07/01	(在看)第 17 号	在宅患者訪問看護・指導料
2014/04/01	(持血測 1)第 2 号	持続血糖測定器加算 間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合
2012/12/01	(持血測 1)第 6 号	持続血糖測定器加算 皮下連続式グルコース測定
2020/04/01	(持血測 2)第 5 号	持続血糖測定器加算 間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合
2022/04/01	(BRCA)第 22 号	BRCA1/2 遺伝子検査
2020/04/01	(先代異)第 1 号	先天性代謝異常症検査

施設基準等と診療報酬 (その他の届出)

2023.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2022/04/01	(酸単)第 12049 号	酸素の単価

医学会関連研修・修練施設認定及び指定

学会認定施設

2023.3.31 現在

日本整形外科学会専門研修連携施設
日本眼科学会専門研修連携施設
日本麻酔科学会専門研修基幹施設
日本泌尿器科学会専門研修連携施設
日本病理学会専門研修連携施設
日本脳神経外科学会専門研修連携施設
日本消化器外科学会専門医修練施設
日本外科学会専門研修連携施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本呼吸器外科専門医合同委員会専門研修連携施設
日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設
日本内科学会専門研修基幹施設
日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
日本消化器内視鏡学会指導施設
日本ペインクリニック学会指定研修施設
日本糖尿病学会認定教育施設
日本臨床細胞学会教育研修施設
日本内分泌学会認定教育施設（産婦人科）
日本内分泌学会認定教育施設（内科）
日本消化器病学会認定施設
日本脳卒中学会認定研修教育病院
日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ検診施設・画像認定施設
日本呼吸器学会専門研修認定施設
日本臨床栄養代謝学会 NST 稼働施設
日本心血管インターベンション治療学会研修施設
日本インターベンショナルラジオロジー（IVR）学会専門医修練認定施設
日本形成科学会専門研修連携施設
日本がん治療認定医機構 認定研修施設
日本高血圧学会高血圧認定研修施設
日本集中治療医学会専門医研修施設
日本透析医学会認定施設
日本臨床腫瘍学会認定研修施設（連携施設）
日本ステントグラフト実施基準管理委員会 腹部ステントグラフト実施施設
日本手外科学会手外科認定研修施設
日本脳神経血管内治療学会認定研修施設
オートプシー・イメージング学会 Ai 撮影参加施設
日本ステントグラフト実施基準管理委員会 胸部ステントグラフト実施施設
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
日本病院総合診療医学会認定施設
日本病態栄養学会認定病態栄養専門医研修認定施設
日本産科婦人科学会専門研修基幹施設

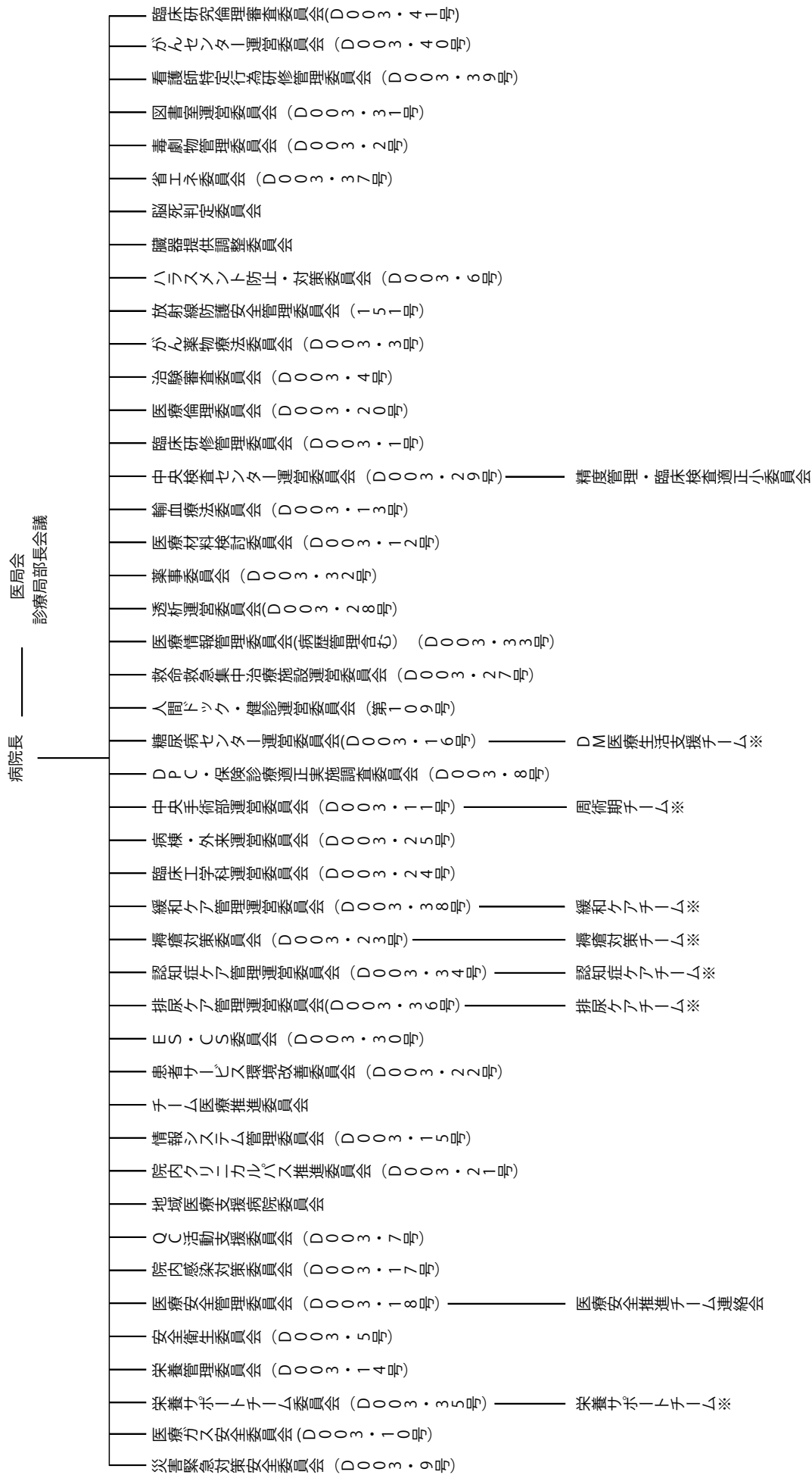
日本内分泌外科学会専門医制度認定施設
 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エキスパンダー実施施設
 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会インプラント実施施設
 下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会
 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設
 日本救急医学会専門研修連携施設
 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 浅大動脈ステントグラフト実施施設
 日本腎臓学会 認定教育施設
 日本胆道学会認定指導医制度 指導施設認定
 日本医学放射線学会 放射線科専門医修練機関（画像診断・IVR、核医学）
 日本血液学会 専門研修認定施設
 日本肥満学会認定肥満症専門病院
 日本膵臓学会 認定指導施設
 日本脊椎脊髄病学会 椎間板酵素注入療法実施可能施設
 日本消化器内視鏡学会 JED Project 参加施設
 日本歯科麻酔学会研修機関
 日本脳卒中学会 一次脳卒中センター（PSC）
 日本肝臓学会認定施設
 日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設
 日本脈管学会認定研修指定施設
 日本門脈圧亢進症学会技術認定教育施設
 日本輸血・細胞治療学会輸血機能評価認定施設（I & A 制度認定施設）
 経カテーテルの心臓弁治療関連学会協議会 経カテーテルの大動脈弁置換術実施施設
 日本専門医機構 内科専門研修基幹施設
 日本専門医機構 産婦人科研修基幹施設
 日本専門医機構 総合診療専門研修基幹施設
 日本プライマリ・ケア連合学会 新家庭医療専門研修連携施設
 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 専門研修連携施設

主要機関指定

2023.3.31 現在

保険医療機関
 臨床研修病院（厚生労働省）
 へき地医療拠点病院
 新型インフルエンザ等対策特別措置法による指定地方公共機関（社会医療法人蘇西厚生会として登録）
 岐阜 DMAT 指定病院
 災害拠点病院（地域災害医療センター）
 地域医療支援病院
 岐阜県特定不妊治療費助成事業医療機関
 岐阜県高次脳機能障害支援事業協力医療機関
 救急告示病院
 特定非営利活動法人卒後臨床研修評価機構認定病院
 日本医療機能評価機構（3rdG:Ver.2.0）認定病院
 松波総合病院障害者短期入所事業所
 全国がん登録における指定診療所（まつなみ健康増進クリニック）
 日本マタニティフィットネス協会登録施設
 臨床研修施設（歯科）

松波総合病院 委員会組織図



平成15年07月23日施行
令和5年03月31日更新

※印は、チーム医療推進委員会の構成員として機能する。

委員会構成総括表

2023年3月31日現在

委員会の名称	任 務	開催回数	◎委員長 ○副委員長 △事務責任者			
			職位	氏名	職位	氏名
QC 活動支援委員会 (D003-7号)	医療の質業務改善等 全般	月1回	◎ 事務本部副本部長 ○ 看護部副看護部長	足立 明隆 佐藤 裕子	△ 医事課課長	村山 弘三
DPC・保険診療適正実 施調査委員会 ※ (D003-8号)	保険請求業務の改善	月1回	◎ 病院長代理 ○ 病院事務部部长	鶴 見 寿 小林 弘明	△ 医事課課長	村山 弘三
災害緊急対策安全委員会 ※※ (D003-9号)	緊急災害対策施行	半期に 1回	◎ 救急医療センター長 ○ 業務部部长	八十川 雄図 杉原 浩二	△ 経営企画部	福田 浩士
薬事委員会 ※※ (D003-32号)	薬剤の調達管理	四半期に 1回	◎ 副院長兼医療本部副本部長 ○ 薬剤部部长	村井 敏博 松本 利恵	△ 薬剤部副主任	浦崎 江美華
医療ガス安全委員会 ※※ (D003-10号)	医療ガスの安全管理	年1回	◎ 業務部部长 ○ 薬剤部部长	杉原 浩二 松本 利恵	△ 業務部	津田 基樹
中央手術部運営委員会 (D003-11号)	手術室の運営	月1回 (第2月曜)	◎ 副院長・手術部部长 ○ 外科部部长	松波 紀行 木村 真樹	△ 手術室看護師長	大野 智子
医療材料検討委員会 (D003-12号)	医療材料採用管理	月1回	◎ 副院長 ○ 業務部部长	森田 則彦 杉原 浩二	△ 業務部課長	古田 将人
輸血療法委員会 ※※ (D003-13号)	輸血療法の安全管理	偶数月に 1回	◎ 病院長代理 ○ 中央検査室課長	鶴 見 寿 森本 剛史	△ 検査室主任	角田 明美
栄養管理委員会 ※※ (D003-14号)	栄養管理業務 食品衛生管理	四半期 1回	◎ 副院長 ○ 栄養科主任	林 慎 堀 弘美	△ 栄養科副主任	山平 由佳
安全衛生委員会 ※※ (D003-5号)	職員の健康安全管理	月1回	◎ 副院長 ○ 看護部主任	林 慎 照井 佳子	△ 人事部部長	児玉 充広
情報システム管理委員会 (D003-15号)	医療情報システムの 管理運営	半期 1回	◎ 副院長 ○ 病院長 ○ システム開発・管理部部長	林 慎 松波 和寿 山北 慎吾	△ システム開発・管理部課長	可兒 竜太
人間ドック・健診運営 委員会 (第109号)	人間ドック業務	年1回	◎ 人間ドック・健診センター長 ○ 人間ドック・健診センター部長	林 慎 佐伯 正人	△ 人間ドック・健診センター課長	伊藤 量彦
糖尿病センター運営委 員会 (D003-16)	生活習慣病の管理 チーム医療の確立 病診連携の推進	年1回	◎ 副院長 ○ 看護部部长 ○ 事務本部副本部長	林 慎 伊藤 妙登美 足立 明隆	△ 栄養科	五家 美幸
院内感染対策委員会 ※ (D003-17号)	感染管理	月1回	◎ 病院長代理 ○ 感染管理認定看護師師長	鶴 見 寿 文字 雅義	△ 事務部部长	杉 下 実
医療安全管理委員会 ※ (D003-18号)	医療事故防止対策	月1回	◎ 副院長 ○ 看護部部长	春日井 敏夫 伊藤 妙登美	△ 医療安全管理室	水野 裕也
地域医療支援病院委員会	地域医療支援病院の ための改善、提案	年4回	◎ ひらたクリニック 院長	平田 俊文	△ 地域医療介護連携室 部長	西川 哲史
医療倫理委員会 ※※ (D003-20号)	医療に伴う倫理	四半期 1回	◎ 医療管理監視役 ○ 内分泌臨床研究センター長	日置 敦巳 今井 篤志	△ 経営企画部主任	松岡 祐也

院内クリニカルパス推進委員会 (D003-21号)	クリニカルパスの推進管理	9回	◎副院長 ○看護部副看護部長	草深 裕光 佐藤 裕子	△診療情報管理課 □パス認定士 ・オブザーバー	武部 知美 今尾 裕子 残馬 仁
患者サービス環境改善委員会 (D003-22号)	施設及び設備の改善を含む患者サービス	必要に応じ	◎小児科部長 ○看護本部長	林 照 恵 伊藤 妙登美	△業務部	津田 基樹
ハラスメント防止・対策委員会 ※※ (D003-6号)	ハラスメントの防止及び排除並びに発生時の対応	4ヶ月に1回	◎医療管理監視役 ○事務本部長	日置 敦巳 杉 下 実	△人事部部長	兄玉 充広
褥瘡対策委員会 ※ (D003-23号)	入院患者の褥瘡予防管理	月1回	◎形成外科部長 ○皮膚・排泄ケア認定看護師	北澤 健 奥田 容子		
臨床工学科運営委員会 (D003-24号)	医療機器の保守・管理	3ヶ月1回 (3・6・9・12)	◎副院長	森田 則彦	△臨床工学科部長	足立 光生
病棟・外来運営委員会 (D003-25号)	病棟及び救急外来管理運営並びに外来業務の管理運営とその連携	月1回	◎副院長 ○看護本部長	森田 則彦 伊藤 妙登美	△クオリティー管理部	水野 裕也
救命救急集中治療施設運営委員会 (D003-27号)	救命救急集中治療施設の管理運営	月1回	◎救急医療センター長 ○循環器内科部長	八十川 雄図 小島 好修	○麻酔科副部長 △地域医療介護連携室 副主任	田中 亜季 長谷川 剛
透析運営委員会 ※ (D003-28号)	透析センター及び血液浄化センターの運営管理	月1回	◎浄化・透析センター長	萩原 徳康	△臨床工学科主任	青木 真矢
臨床研修管理委員会 ※(D003-1号)	医師研修の運営	月1回	◎副院長	村山 正憲	△臨床研修医室主任	林 幸太郎
中央検査センター運営委員会 ※ (D003-29号)	検査センター業務の運営管理	月1回	◎中央検査センター顧問兼 糖尿病センター顧問 ○中央検査室部長	安田 圭吾 酒井 昭嘉	△中央検査室主任	橋本 あゆみ
精度管理・臨床検査適正小委員会※	精度管理・臨床検査適正化及び運営管理	月1回	◎中央検査センター顧問兼 糖尿病センター顧問 ○中央検査室部長	安田 圭吾 酒井 昭嘉	△中央検査室主任	橋本 あゆみ
治験審査委員会※※ (D003-4号)	治験審査の運営管理	月1回 (調査審議及び報告事項のない場合等はその限りではない)	◎内分泌臨床研究センター長 ○薬剤部部長	今井 篤志 松本 利恵		
臨床研究倫理審査委員会※※ (D003-41号)	治験審査の運営管理	月1回 (調査審議及び報告事項のない場合等はその限りではない)	◎内分泌臨床研究センター長 ○薬剤部部長	今井 篤志 松本 利恵		
ES・CS委員会 (D003-30号)	患者・職員満足度向上	1回/2ヶ月 (偶数月)	◎副院長 ○クオリティー管理部部長	松波 紀行 足立 成道	△クオリティー管理部部長	足立 成道
がん薬物療法委員会※ (003-3号)	がん薬物療法に関する管理・運営	月1回	◎血液・腫瘍内科部長 ○薬剤部部長	原 武 志 松本 利恵	△薬剤部副主任	松崎 南美
放射線防護安全管理委員会※※ (151号)	放射線防護安全管理に関する管理・運営	年2回	◎第2放射線科部長 ○中央放射線室部長	伊原 昇 福田 武	△中央放射線室副主任	小田 雄亮

臓器提供調整委員会 ※※	臓器提供の調整	随時	◎ 病院長 ○ 脳神経外科部長	松波 和寿 澤田 元史	△クオリティー管理部部長	足立 成道
脳死判定委員会※※	脳死判定	随時	◎ 脳神経外科部長 ○ 介護老人保健施設診療部長	澤田 元史 岩井 知彦	△クオリティー管理部部長	足立 成道
チーム医療推進委員会	各チーム医療の推進及び普及	月1回	◎ 副院長 ○ がん化学療法看護認定看護師兼がん治療センター副センター長	森田 則彦 野々垣 智子	△病院事務部部长	小林 弘明
医療情報管理委員会 ※ (D003-33号)	医療情報全般の管理及びデータ管理	偶数月に1回	◎ 副院長 ○ 副院長	林 慎 草深 裕光	△診療情報管理課課長	森 達也
省エネ委員会 (D003-37号)	省エネの推進	1回 / 2ヶ月	◎ 事務本部長 ○ 業務部	杉下 実 津田 基樹	△業務部	山本 雄一
毒劇物管理委員会 (D003-2号)	毒劇物管理および保健衛生上の危害防止	年2回	◎ 病理診断科副部長 ○ 薬剤部部長	川島 啓佑 松本 利恵	△病理検査室検査技師	栗本 幸奈
図書室運営委員会 (D003-31号)	図書の購入並びに管理運営	年1回	◎ 副院長 ○ 総務部部長	林 慎 残馬 仁	△総務部総務課	田中 大地
認知症ケア管理運営委員会 (D003-34号)	入院患者の認知症予防管理	4月と奇数月年7回	◎ 精神科部長 ○ 看護部主任	小島 久典 川崎 葉子	△診療支援部課長	社本 六起
排尿ケア管理運営委員会 (D003-36号)	入院・外来患者の継続的排尿自立支援	月1回 第3金曜	◎ 泌尿器生殖科部長 ○ 看護部副部長(皮膚・排泄ケア認定看護師)	萩原 徳康 鶴飼 淳	△病院事務部医事課	中川 拓之
栄養サポートチーム委員会 (D003-35号)	栄養サポートの推進及び普及	月1回	◎ 副院長 ○ 内科医員	林 慎 山本 奈央子	△栄養科副主任	山平 由佳
緩和ケア管理運営委員会 (D003-38号)	入院患者の緩和ケアを実施し苦痛緩和に取り組む	偶数月年6回	◎ 副院長 ○ 副院長	春日井 敏夫 松波 紀行	△診療支援部課長	社本 六起
看護師特定行為研修管理委員会※※ (D003-39号)	特定行為研修の運営・管理	年2回	◎ 副院長 ○ 看護本部長	林 慎 伊藤 妙登美	△総務部部長	残馬 仁
がんセンター運営委員会 (D003-40号)	がんセンターに関する管理・運営	月1回	◎ 病院長代理 ○ 看護本部長	鶴見 寿 伊藤 妙登美	△事務本部長	杉下 実

※ 診療報酬上必要な委員会
 ※※ 医療等必要な委員会

会議体構成総括表

2023.3.31 時点

会議の名称	任務	開催回数	◎議長 ○副議長 △事務責任者				その他 構成員
			職位	氏名	職位	氏名	
理事会	医療法人の管理運営に関すること 賞罰に関すること	月 / 第4月曜日 その他必要に応じ	◎ 理事長 ○ 病院長 ○ 事務本部長	松波 英寿 松波 和寿 杉下 実	△ 事務本部長 △ 事務本部長	足立 明隆 足立 明隆	【医師部門】 花立史香・平山宏史 【看護部門】 伊藤妙登美
法人経営会議	医療法人の管理運営に関すること 賞罰に関すること	月 / 第2月曜日 その他必要に応じ	◎ 理事長 ○ 病院長 ○ 事務本部長	松波 英寿 松波 和寿 杉下 実	△ 事務本部長 △ 経営企画本部長	足立 明隆 山田 源久	【医師部門】 松波英一・森脇久隆・花立史香・平山宏史・鶴見寿・森田則彦・村山正憲・林慎・村井敏博・春日井敏夫・松波紀行・田上真・草深裕光・荒木寛司・杉原潤一・八十八川雄図・田中薫 【看護部門】 伊藤妙登美
医局会議	病院の運営に関すること	月 1 回	◎ 病院長	松波 和寿	△ 診療局長	林 慎	【医師部門】 全医局員
診療局部長会議	病院の運営に関すること	月 1 回	◎ 病院長 ○ 診療局長	松波 和寿 林 慎	△ 病院事務本部長 △ 病院事務部医事課長 △ 病院事務部医事課長 △ 病院事務部医事課長	小林 明弘 栗野 謙一 細野 雄也 村山 弘三	【医師部門】 各診療科部長・副部長
事務管理者会議	病院の運営に関すること	毎週 1 回	◎ 事務本部長	杉下 実	△ 人事部長	児玉 充広	【事務・コメディカル・関連施設関係】 管理本部長が指名した事務・コメディカル
看護師長会議	病院及び看護部の運営に関すること	月 2 回	◎ 看護本部長 ○ 副看護部長 ○ 副看護部長	伊藤 妙登美 佐藤 裕子 井龍 久美子	△ 各師長 (交代)		【看護部門】 看護師長・看護部長が指名した看護師

勤務医看護師 負担軽減策会議	勤務医等の負担 軽減に関すること	年2回	◎ 病院長 ○ 事務本部長	松波 和 寿 杉 下 実	△総務部部长	残 馬 仁	<p>【医師部門】 診療局長、診療支援部長、病院顧問</p> <p>【看護部門】 看護本部長</p> <p>【事務・コメディカル関係】 病院事務部長、人事部長、中央検査室部長、中央放射線室部長、リハビリテーション技術室部長、臨床工学科部長、薬剤部長、地域医療介護連携室部長、秘書室課長、臨床研修医室主任、栄養科主任</p>
-------------------	---------------------	-----	------------------	-----------------	--------	-------	---

医師プロフィール（医長以上）

（2023年3月31日現在）

【総合内科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
村山正憲	内科一般 内分泌代謝	日本内科学会 日本内科学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 日本病院総合診療医学会 日本専門医機構	認定内科医 総合内科専門医 内分泌代謝科(内科)専門医 指導医 認定病院総合診療医 総合診療研修特任指導医	日本内科学会 日本内分泌学会 日本病院総合診療医学会
山田梨絵	内科一般	日本内科学会 日本内科学会 日本糖尿病学会 日本内分泌学会 日本プライマリ・ケア連合学会 日本プライマリ・ケア連合学会 日本病院総合診療医学会 日本専門医機構	認定内科医 総合内科専門医 糖尿病専門医 内分泌代謝科(内科)専門医 認定医 指導医 認定病院総合診療医 総合診療研修特任指導医	日本内科学会 日本糖尿病学会 日本内分泌学会 日本高血圧学会 日本プライマリ・ケア連合学会 日本病院総合診療医学会 日本リウマチ学会
岩田 暁	内科一般	日本内科学会 日本内科学会 日本感染症学会 ICD 制度協議会	認定内科医 総合内科専門医 感染症専門医 認定 ICD	日本内科学会 日本感染症学会 日本臨床微生物学会
傍島卓也	内科一般	日本内科学会 日本内科学会	認定内科医 総合内科専門医	日本内科学会

【内科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
村井敏博	総合内科 消化器疾患 内分泌・代謝学 (糖尿病)	日本内科学会 日本内科学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 ICD 制度協議会	認定内科医 総合内科専門医 糖尿病専門医 研修指導医 認定 ICD	日本内科学会 日本糖尿病学会 日本感染症学会

草深裕光	内科一般 医療情報	日本内科学会 日本透析医学会 日本 TDM 学会 日本医師会	総合内科専門医 透析専門医 評議員 認定産業医	日本内科学会 米国内科学会 (ACP) 日本透析医学会 日本 TDM 学会 日本医療情報学会 日本診療情報管理学会 医療の質・安全学会 日本臨床倫理学会 日本クリニカル・パス学会
杉本浩志	循環器疾患 一般外科			
安田圭吾	糖尿病 内分泌代謝	日本内科学会 日本内科学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 日本臨床検査医学会 日本ステロイドホルモン学会	認定内科医 名誉会員 内分泌代謝科(内科)専門医 内分泌代謝科(内科)指導医 功労評議員 糖尿病専門医 研修指導医 功労評議員 臨床検査管理医 名誉会員	日本内科学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会 日本ステロイドホルモン学会
森下哲司	循環器内科	日本内科学会 日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インター ベンション治療学会	認定内科医 総合内科専門医 循環器専門医 日本心血管インター ベンション治療学会認定医	日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インターベン ション治療学会

【医療管理】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
日置敦巳	感染症対策 健康管理	ICD 制度協議会 日本医師会 社会医学系専門医協会 社会医学系専門医協会	認定 ICD 認定産業医 専門医 社会医学系指導医	日本感染症学会 日本産業衛生学会 日本臨床寄生虫学会 日本内科学会 日本人間ドック学会

【消化器内科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
田上 真	肝臓治療全般	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本肝臓学会 日本肝臓学会	認定内科医 消化器病専門医 消化器病指導医 肝臓専門医 指導医	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会 日本門脈圧亢進症学会 日本肝臓学会 リザーバー研究会 日本緩和医療学会
荒木寛司	消化器内視鏡診断・治療 炎症性腸疾患 門脈圧亢進症	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本門脈圧亢進症学会 日本門脈圧亢進症学会 日本消化管学会	認定内科医 総合内科専門医 東海地方会評議員 消化器病専門医 指導医 評議員 東海支部評議員 消化器内視鏡専門医 指導医 社団評議員 東海支部幹事 東海地方会評議員 技術認定取得医 評議員 胃腸科専門医	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本門脈圧亢進症学会 日本消化管学会 American Society for Gastrointestinal Endoscopy 日本消化器がん検診学会
杉原潤一	肝臓病学 消化器病学	日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会 日本肝臓学会 日本肝臓学会 日本医師会 ICD 制度協議会	認定内科医 東海支部評議員 消化器病専門医 指導医 名誉支部会員 評議員 消化器内視鏡専門医 指導医 肝臓専門医 指導医 西部会評議員 認定産業医 認定 ICD	日本内科学会 日本消化器病学会 日本肝臓学会 日本消化器内視鏡学会 日本急性肝不全研究会 日本感染症学会

伊藤康文	消化器疾患 内分泌代謝疾患	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 日本肝臓学会 日本ヘリコバクター学会	認定内科医 総合内科専門医 内科指導医 消化器病専門医 指導医 消化器内視鏡専門医 指導医 糖尿病専門医 研修指導医 内分泌代謝科(内科)専門医 内分泌代謝科指導医 肝臓専門医 ピロリ菌感染症認定医	日本内科学会 日本消化器病学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会 日本ヘリコバクター学会 腸内細菌学会 日本臨床腸内微生物学会 日英炎症性腸疾患学会 日本消化器免疫学会
早崎直行	消化器疾患	日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本医師会	認定内科医 総合内科専門医 消化器病専門医 指導医 消化器内視鏡専門医 指導医 認定産業医	日本内科学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器病学会
浅野剛之	消化器疾患 内分泌・代謝疾患 総合内科	日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本化学療法学会 ICD 制度協議会 日本救急医学会 日本内科学会救急委員会	認定内科医 総合内科専門医 消化器病専門医 消化器内視鏡専門医 抗菌化学療法指導医 認定 ICD ICLS・BLSインストラクター JMECC インストラクター	日本内科学会 日本内分泌学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本東洋医学会 日本糖尿病学会 日本化学療法学会
河口順二	消化器疾患 胆道・膵臓領域	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本胆道学会 日本膵臓学会 日本肝臓学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 消化器病専門医 指導医 東海支部評議員 消化器内視鏡専門医 指導医 東海支部評議員 指導医 指導医 肝臓専門医	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本胆道学会 日本膵臓学会 日本肝臓学会

中西孝之	消化器疾患 消化管領域	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化管学会 日本肝臓学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 消化器病専門医 指導医 東海支部評議員 消化器内視鏡専門医 指導医 東海支部評議員 胃腸科専門医 肝臓専門医	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会 日本消化管学会 日本門脈圧亢進症学会 日本胃癌学会
全 秀 嶺	消化器疾患			
木村有志	消化器疾患	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会	認定内科医 消化器病専門医 消化器内視鏡専門医 肝臓専門医	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会

【腎臓内科】

医師名	専門分野	取 得 資 格	所 属 学 会	
矢島隆宏	腎臓疾患 糖尿病	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本腎臓学会 日本腎臓学会 日本透析医学会 日本透析医学会 日本高血圧学会 日本高血圧学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 腎臓専門医 指導医 透析専門医 指導医 専門医 指導医 内分泌代謝(内科)専門医 指導医 糖尿病専門医 指導医	日本内科学会 日本腎臓学会 日本透析医学会 日本高血圧学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会

【呼吸器内科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
坂 英雄	肺がんの化学療法 気管支鏡による診 断・治療 呼吸器インターベ ンション	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本臨床腫瘍学会 日本臨床腫瘍学会 日本がん治療認定医機構	認定内科医 総合内科専門医 指導医 呼吸器専門医 指導医 気管支鏡専門医 気管支鏡指導医 がん薬物療法専門医 指導医 がん治療認定医	日本内科学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本癌学会 日本臨床腫瘍学会 日本がん治療認定医機構 日本肺癌学会 日本癌治療学会 日本メディカル AI 学会 American Society of Clinical Oncology American Thoracic Society American College of Chest Physicians,Fellow Asian-Pacific Association for Bronchology and Interventional Pulmonology Asian-Pacific Society of Respiriology European Respiratory Society International Association for the Study of Lung Cancer World Associarion for Bronchology and Interventional Pulmonology

【循環器内科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
森田則彦	循環器疾患 (心臓・大動脈・ 末梢血管)	日本内科学会 日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インター ベンション治療学会 日本心血管インター ベンション治療学会	認定内科医 評議員 循環器専門医 認定医 専門医	日本循環器学会 日本内科学会 日本心血管インターベンション治療学会

上野勝己	循環器疾患 (カテーテル治療)	日本内科学会 日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インター ベンション治療学会	認定内科医 総合内科専門医 循環器専門医 専門医	日本内科学会 日本循環器学会 日本不整脈学会 日本救急医学会 日本糖尿病学会 日本心血管インターベンション治療学会 日本心臓リハビリテーション学会
香曾我部泰	不整脈	日本内科学会 日本内科学会 日本循環器学会 日本不整脈心電学会 日本心不全学会、日 本不整脈心電学会	認定内科医 総合内科専門医 循環器専門医 不整脈専門医 植込み型除細動器 / ペースングによる不 全治療研修証	日本内科学会 日本循環器学会 日本不整脈心電学会
小島好修	心疾患全般	日本内科学会 日本内科学会 日本循環器学会 浅大腿動脈ステントグラフト 実施基準管理委員会 日本ステントグラフト 実施基準管理委員会 日本心血管インター ベンション治療学会 日本心不全学会、日 本不整脈心電学会 厚生労働省	認定内科医 総合内科専門医 循環器専門医 浅大腿動脈ステントグ ラフト実施医 GORE VIABAHN Endoposthesis 腹部ステントグラフト 実施医 Gore Excluder Endprosthesis 認定医 植込み型除細動器 / ペースングによる不 全治療研修証 日本 DMAT 隊員	日本循環器学会 日本内科学会 日本心血管インターベンション治療学会 日本静脈学会
近藤裕樹	循環器 疾患全般	日本内科学会 日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インター ベンション治療学会 浅大腿動脈ステントグラフト 実施基準管理委員会 日本心不全学会、日 本不整脈心電学会 日本経カテーテル心 臓弁治療学会 日本ステントグラフト 実施基準管理委員会	認定内科医 総合内科専門医 循環器専門医 認定医 浅大腿動脈ステントグ ラフト実施医 GORE VIABAHN Endoposthesis 植込み型除細動器 / ペーシ ングによる不全治療研修証 経カテーテルの大動脈 弁置換術 (TAVR) 実施医 腹部ステントグラフト 実施医 Gore Excluder Endprosthesis	日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インターベンション治療学会 日本心不全学会

江崎正泰	循環器疾患	日本循環器学会 日本内科学会 日本医師会	循環器専門医 認定内科医 認定産業医	日本内科学会 日本循環器学会 日本心臓リハビリテーション学会
------	-------	----------------------------	--------------------------	--------------------------------------

【血液・腫瘍内科】

医師名	専門分野	取得資格	所属学会	
鶴見 寿	血液疾患 HIV 診療	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本臨床内科医会 日本血液学会 日本血液学会 日本血液学会 日本消化器内視鏡学会 日本臨床腫瘍学会 日本臨床腫瘍学会 日本臨床腫瘍学会 日本がん治療認定機構 日本エイズ学会 日本エイズ学会 日本造血・免疫細胞療法学会 日本輸血・細胞治療学会 ICD制度協議会 日本骨髄腫学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 評議員 臨床内科専門医 血液専門医 指導医 評議員 消化器内視鏡専門医 がん薬物療法専門医 指導医 協議員 がん治療認定医 認定医 認定指導医 認定医 東海支部評議員 認定 ICD 代議員	日本内科学会 日本血液学会 日本臨床腫瘍学会 日本エイズ学会 日本造血細胞移植学会 米国血液学会 日本感染症学会 日本クリニカルパス学会 日本消化器内視鏡学会 日本臨床内科学会 日本骨髄腫学会 日本リンパ網内系学会 日本医療マネジメント学会 日本肝臓学会
原 武志	血液疾患	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本血液学会 日本血液学会 日本血液学会 日本臨床腫瘍学会 日本臨床腫瘍学会 日本がん治療認定医機構	認定内科医 総合内科専門医 指導医 東海支部評議員 血液専門医 指導医 東海地区評議員 がん薬物療法専門医 指導医 がん治療認定医	日本内科学会 日本血液学会 日本臨床腫瘍学会

李 心	血液内科 腫瘍内科 内科一般	日本内科学会 日本内科学会 日本血液学会 日本血液学会 日本血液学会 日本臨床腫瘍学会 ICD 制度協議会	認定内科医 総合内科専門医 血液専門医 指導医 評議員 がん薬物療法専門医 認定 ICD	日本血液学会 日本内科学会 日本造血幹細胞移植学会 日本臨床腫瘍学会 日本感染症学会
藤田 慧	白血病 悪性リンパ腫 多発性骨髄腫 貧血	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本血液学会 日本血液学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 血液専門医 指導医	日本血液学会 日本内科学会

【小児科】

医師名	専門分野	取得資格	所属学会	
林 照恵	気管支喘息 アレルギー疾患 小児発達	日本小児科学会 日本アレルギー学会 日本小児科医会 日本小児科医会 日本小児科医会	小児科専門医 アレルギー専門医(小児科) 「子どもの心」相談医 地域総合小児医療認定医 地域総合小児医療認定医指導者	日本小児科学会 日本アレルギー学会 日本小児アレルギー学会 日本小児神経学会 日本小児感染症学会 日本小児リウマチ学会 日本周産期・新生児医学会
笠原由貴子	小児一般	日本小児科学会 日本小児精神神経学会	小児科専門医 認定医	日本小児科学会 日本小児神経学会 日本小児精神神経学会 日本周産期・新生児医学会 日本人類遺伝学会

【外科・消化器外科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
松波英寿	大腸肛門科 領域全般 一般外科 移植外科	日本外科学会 日本外科学会 日本外科学会 日本臨床外科学会 日本消化器外科学会 日本移植学会 日本移植学会 細胞治療認定管理師 制度協議会 日本肝移植研究会 日本臓器保存生物医学会 日本医師会 日本スポーツ協会	認定医 外科専門医 指導医 評議員 認定医 移植認定医 代表員 細胞治療認定管理師 世話人 評議員 認定産業医 公認スポーツドクター	日本外科学会 日本医師会 日本臨床外科学会 The Transplantation Society The Transplantation Society of Australia and New Zealand The International Society for Artificial Organs 日本外科学会 日本臨床外科学会 日本移植学会 日本消化器外科学会 日本消化器病学会 日本肝臓学会 日本肝移植研究会 日本臓器保存生物医学会 日本外科系連合学会 日本癌治療学会 日本内視鏡外科学会 日本ロボット外科学会 東海外科学会 日本肝癌研究会 日本輸血細胞治療学会 日本内視鏡下肥満・糖尿病外科研究会 日本肥満学会 セルロース学会 日本公衆衛生学会 日本臨床検査医学会 日本肥満症治療学会

木村真樹	上部消化管 内視鏡ロボット支 援手術 肝胆膵外科	日本外科学会 日本外科学会 日本外科学会 日本臨床外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本がん治療認定医機構 日本食道学会 日本肝胆膵外科学会 日本肝胆膵外科学会 日本内視鏡外科学会 日本内視鏡外科学会	認定医 外科専門医 指導医 評議員 消化器外科専門医 指導医 消化器がん外科治療認定医 がん治療認定医 食道科認定医 肝胆膵外科高度技能指導医 評議員 技術認定(消化器・一般外科) 評議員	日本外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器病学会 日本胸部外科学会 日本肝胆膵外科学会 日本食道学会 日本胃癌学会 日本内視鏡外科学会 日本臨床外科学会 日本腹部救急医学会
栃井航也	腹腔鏡手術 (消化管、ヘルニア) 甲状腺外科 ロボット手術(大腸) 肛門外科	日本外科学会 日本臨床外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本内視鏡外科学会 日本内視鏡外科学会 日本大腸肛門病学会 日本肝胆膵外科学会 日本がん治療認定医機構 日本乳がん検診精度 管理中央機構 日本内分泌外科学会 日本甲状腺学会 日本ロボット外科学会 日本医師会 日本医師会 厚生労働省	外科専門医 評議員 消化器外科専門医 指導医 消化器がん外科治療認定医 技術認定(消化器・一般外科) 評議員 大腸肛門病専門医 評議員 がん治療認定医 検診マンモグラフィ 読影認定医師 内分泌外科専門医 甲状腺学会専門医 専門医(国内B級) 認定健康スポーツ医 認定産業医 麻酔科標榜医	日本外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器病学会 日本内視鏡外科学会 日本大腸肛門病学会 日本肝胆膵外科学会 日本外科系連合学会 日本腹部救急医学会 日本内分泌外科学会 日本ロボット外科学会 日本臨床外科学会 日本甲状腺学会 日本ヘルニア学会 日本乳腺甲状腺超音波医学会
田尻下敏弘	外科一般	日本救急医学会	救急専門医	日本救急医学会

【乳腺外科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
森 美 樹	乳腺外科 消化器外科疾患	日本外科学会 日本外科学会 日本乳癌学会 日本乳癌学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本肝臓学会 日本腹部救急医学会 日本医師会 日本乳がん検診精度管理中央機構	外科専門医 指導医 乳腺認定医 専門医 消化器外科専門医 指導医 消化器病専門医 指導医 肝臓専門医 腹部救急認定医 認定産業医 検診マンモグラフィ一読影認定医	日本外科学会 日本乳癌学会 日本消化器外科学会 日本消化器病学会 日本肝臓学会 日本腹部救急医学会 日本臨床外科学会

【心臓血管外科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
熊田佳孝	心臓・大腸脈の 手術末梢血行障 害の治療 フットケア	日本外科学会 日本外科学会 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会	認定医 外科専門医 心臓血管外科専門医 修練指導者 胸部ステントグラフト指導医 GORE TAG Thoracic Endprosthesis 胸部ステントグラフト実 施医 GORE TAG Thoracic Endprosthesis 腹部ステントグラフト修 練指導医	日本外科学会 日本心臓血管外科学会 日本脈管学会 日本集中治療学会 日本フットケア学会

石田成吏洋	成人心臓・大動脈外科手術 低侵襲心臓手術(MICS)	日本外科学会 日本外科学会 日本外科学会 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 日本脈管学会 日本脈管学会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会	認定医 外科専門医 指導医 心臓血管外科専門医 修練指導者 脈管専門医 研修指導医 胸部ステントグラフト実施医 GORE TAG Thoracic Endprosthesis 腹部ステントグラフト実施医 Gore Excluder Endprosthesis 腹部ステントグラフト実施医 ENDURANT ステントグラフトシステム 腹部ステントグラフト指導医 ENDURANT ステントグラフトシステム 腹部ステントグラフト指導医 Gore Excluder Endprosthesis 腹部ステントグラフト実施医 AFX ステントグラフトシステム	日本外科学会 日本胸部外科学会 日本心臓血管外科学会 日本血管外科学会 日本循環器学会 日本冠疾患学会 日本脈管学会 日本冠動脈外科学会 日本低侵襲心臓手術学会 日本経カテーテル心臓弁治療学会
-------	-------------------------------	--	--	---

【整形外科】

医師名	専門分野	取得資格	所属学会	
福田 雅	整形外科一般 関節外科 肩関節外科 筋骨格系超音波診断	日本整形外科学会 日本整形外科学会 中部日本整形外科災害外科学会 日本肩関節学会 東海スポーツ傷害研究会 東海関節鏡研究会	整形外科専門医 スポーツ医 評議員 リバーstype人工肩関節置換術施行資格 幹事 幹事	日本整形外科学会 日本肩関節学会 日本股関節学会 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 中部日本整形外科災害外科学会 日本人工関節学会 日本骨折治療学会 日本足の外科学会 東海スポーツ傷害研究会 東海関節鏡研究会

日置 暁	脊椎脊髄外科	日本整形外科学会 日本整形外科学会 日本脊椎脊髄病学会 日本脊椎脊髄病学会	整形外科専門医 脊椎脊髄病医 脊椎脊髄外科専門医 指導医	日本整形外科学会 日本脊椎脊髄病学会 日本側彎症学会 日本脊椎インストゥルメンテーション学会 中部日本整形外科災害外科学会
石丸大地	整形外科一般（関節外科・外傷整形）	日本整形外科学会 日本整形外科学会 Ao Trauma Japan	整形外科専門医 研修指導者 評議員	日本整形外科学会 Ao Trauma Japan
山口良大	整形一般（特に救急外傷整形）	日本整形外科学会	整形外科専門医	日本整形外科学会 日本救急医学会 日本骨折治療学会 日本脊椎脊髄病学会

【脳神経外科】

医師名	専門分野	取得資格	所属学会	
澤田元史	脳卒中 脳動脈瘤 脳腫瘍 三叉神経痛、顔面痙攣に対する機能外科 脳血管内治療	日本脳神経外科学会 日本脳卒中学会 日本脳卒中学会 日本脳卒中の外科学会 日本脳神経血管内治療学会 日本脳神経血管内治療学会 日本脳神経血管内治療学会	脳神経外科専門医 脳卒中専門医 脳卒中指導医 技術指導医 専門医 指導医 研修施設認定	日本脳神経外科学会 日本脳卒中学会 日本脳神経血管内治療学会 日本脳卒中の外科学会 日本癌学会 米国癌学会（AACR） 日本脳神経外科コンgres
長谷川義仁	脳神経外科一般	日本脳神経外科学会	脳神経外科専門医	日本脳神経外科学会 日本脳神経外科コンgres 日本脳卒中学会 日本脊髄外科学会 日本脳神経外科漢方医学会

【呼吸器外科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
春日井敏夫	肺がん 縦隔腫瘍	日本外科学会 日本外科学会 日本胸部外科学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器学会 日本胸部外科学会・ 日本呼吸器外科学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本がん治療認定医機構 日本緩和医療学会	外科専門医 指導医 認定医 呼吸器専門医 指導医 呼吸器外科専門医 気管支鏡専門医 指導医 がん治療認定医 認定医	日本肺癌学会 日本呼吸器外科学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本胸部外科学会 日本緩和医療学会

【形成外科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
北澤 健	形成外科全般 (特に眼瞼手術、マイクロサージャリーを応用した切断肢再接着や皮弁術による再建など)	日本形成外科学会 日本形成外科学会 日本手外科学会 日本乳房オンコプラ スティックサージャ リー学会	形成外科専門医 皮膚腫瘍外科分野指導医 手外科専門医 乳房再建用エキスパ ンダーおよびインプ ラント責任医師	日本形成外科学会 日本手外科学会 日本マイクロサージャリー学会 国際形成外科学会 日本乳房オンコプラスティックサ ージャリー学会

【皮膚科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
浅野由祐子	皮膚科一般	日本皮膚科学会	皮膚科専門医	日本皮膚科学会 日本アレルギー学会

【泌尿器科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
萩原徳康	感染 内視鏡手術 アンドロロジー 腫瘍	日本泌尿器科学会 日本泌尿器科学会 日本がん治療認定医機構 日本泌尿器内視鏡学会	泌尿器科専門医 指導医 がん治療認定医 泌尿器ロボット支援手 術プロクター認定	日本泌尿器科学会 日本アンドロロジー学会 日本泌尿器科内視鏡学会 日本癌治療学会

【産婦人科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
松波和寿	周産期 不妊症 腫瘍 内分泌 腹腔鏡手術	日本産科婦人科学会 日本産科婦人科学会 社会医学系専門医協会 社会医学系専門医協会 日本クリニカルパス学会 日本クリニカルパス学会 日本医療マネジメント学会 岐阜県医師会	産婦人科専門医 産婦人科指導医 社会医学系専門医 社会医学系指導医 パス指導者 理事 評議員 母体保護法指定医師	日本産科婦人科学会 日本クリニカルパス学会 日本生殖医学会 日本医療マネジメント学会 日本内視鏡学会 日本受精着床学会 日本産婦人科内視鏡学会 日本産婦人科医学会
今井篤志	生殖内分泌 腫瘍内分泌	日本専門医機構 日本産科婦人科学会 日本婦人科腫瘍学会 日本婦人科腫瘍学会 日本生殖医学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 岐阜県医師会	産婦人科専門医 産婦人科指導医 婦人科腫瘍専門医 婦人科腫瘍指導医 生殖医療専門医 内分泌代謝科（産婦人科）専門医 内分泌代謝科指導医 母体保護法指定医師	日本産科婦人科学会 日本婦人科腫瘍学会 日本内分泌学会 日本生殖医学会
川鱒市郎	周産期 画像診断 胎児診断治療	日本産科婦人科学会 岐阜県医師会	産婦人科専門医 母体保護法指定医師	日本産科婦人科学会 日本周産期新生児学会
高木 博	産婦人科全般 腹腔鏡 膣式手術	日本産科婦人科学会 岐阜県医師会	産婦人科専門医 母体保護法指定医師	日本産科婦人科学会 日本女性骨盤底医学会 日本産婦人科手術学会 日本骨盤臓器脱手術学会
市古 哲	産婦人科全般	日本産科婦人科学会 日本産科婦人科学会 岐阜県医師会 日本母体救命システム普及協議会	産婦人科専門医 産婦人科指導医 母体保護法指定医師 J-MELS ベーシックインストラクター	日本産科婦人科学会

【眼科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
松波智恵子	眼科一般			日本糖尿病眼学会 日本眼科学会

末森晋典	抗 VEGF 薬治療 眼形成手術 網膜硝子体手術	日本眼科学会	眼科専門医	日本眼科学会 日本網膜硝子体学会 日本眼形成学会
------	--------------------------------	--------	-------	--------------------------------

【耳鼻咽喉科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
永井裕之	耳鼻咽喉科全般	日本耳鼻咽喉科学会 日本耳鼻咽喉科学会	耳鼻咽喉科専門医 補聴器相談医	日本耳鼻咽喉科学会
飯田達夫	耳鼻咽喉科全般 耳画像学	日本耳鼻咽喉科学会	耳鼻咽喉科専門医	日本耳鼻咽喉科学会 日本小児耳鼻咽喉科学会 耳鼻咽喉臨床学会 日本めまい平衡医学会

【麻酔科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
江崎善保	麻酔全般 慢性疼痛のコントロール	日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 厚生労働省	麻酔科認定医 専門医 指導医 麻酔科標榜医	日本麻酔科学会 日本ペインクリニック学会 日本集中治療医学会
橋本慎介	周術期の全身管理 成人の心臓麻酔	日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 厚生労働省	麻酔科認定医 専門医 指導医 麻酔科標榜医	日本麻酔科学会 日本臨床麻酔学会 日本集中治療医学会
小島明子	麻酔全般	日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本集中治療医学会 厚生労働省	麻酔科認定医 専門医 指導医 集中治療専門医 麻酔科標榜医	日本麻酔科学会 日本集中治療医学会
田中亜季	麻酔全般	日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本集中治療医学会 厚生労働省	麻酔科認定医 専門医 指導医 集中治療専門医 麻酔科標榜医	日本麻酔科学会 日本集中治療医学会 日本緩和医療学会

三上大介	周術期の全身管理 成人の心臓麻酔	日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 厚生労働省 日本医師会	麻酔科認定医 専門医 指導医 麻酔科標榜医 認定産業医	日本麻酔科学会
------	---------------------	---	---	---------

【リハビリテーション科】

医師名	専門分野	取得資格	所属学会	
松波紀行	ペインクリニック 麻酔管理 リハビリ全般 肥満診療 スポーツ医学全般	日本ペインクリニック学会 日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 厚生労働省 日本慢性疼痛学会 日本自己血輸血学会、 日本輸血・細胞治療学会 日本自己血輸血学会、 日本輸血・細胞治療学会 日本スポーツ協会 日本医師会 日本医師会	ペインクリニック専門医 麻酔科認定医 専門医 指導医 麻酔科標榜医 慢性疼痛専門医 細胞治療認定管理師 学会認定・自己血輸血 責任医師 公認スポーツドクター 認定健康スポーツ医 認定産業医	日本ペインクリニック学会 日本麻酔科学会 日本リハビリテーション医学会 日本肥満学会 日本輸血細胞治療学会

【メンタルケア科（精神科）】

医師名	専門分野	取得資格	所属学会	
小島久典	精神科一般	日本精神神経学会 日本精神神経学会 厚生労働省	精神科専門医 精神科専門医制度指導医 精神保健指定医	日本精神神経学会

【救急総合診療科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
八十川雄図	心肺蘇生 脳卒中	日本救急医学会 日本救急医学会 日本脳神経外科学会 日本集団災害医学会 厚生労働省 全日本病院協会 Japan Clinical Simulation Organization American Heart Association American Heart Association NBCR 対策推進機構 日本母体救命システム 普及協議会 ICD 制度協議会 岐阜県危機管理部消防課	救急科専門医 ICLS・BLSコースディレクター 脳神経外科専門医 MCLS 世話人 統括 DMAT AMAT 隊員 ISLS 認定ディレクター ACLS リードインストラクター BLS リードインストラクター CBRNEテロ対策責任者1級 J-CIMELS ベーシックコース・インストラクター 認定 ICD 岐阜地域メディカルコントロール協議会委員	日本救急医学会 日本脳神経外科学会 日本脳神経外科コンgres 日本臨床救急医学会 日本災害医学会 日本集中治療医学会
白井知佐子	救急	日本救急医学会	救急科専門医	日本救急医学会 日本臨床救急医学会

【歯科口腔外科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
松原 誠	口腔外科全般	日本口腔外科学会 日本口腔外科学会 日本口腔科学会 日本口腔科学会 日本有病者歯科医療学会 日本有病者歯科医療学会 日本障害者歯科学会 日本障害者歯科学会 日本障害者歯科学会 日本臨床細胞学会 日本臨床細胞学会 ICD 制度協議会	口腔外科認定医 専門医 口腔科認定医 指導医 有病者歯科医療認定医 専門医 認定医 障害者歯科専門医 指導医 細胞診専門歯科医 教育研修指導医 認定 ICD	日本口腔外科学会 日本口腔科学会 日本有病者歯科医療学会 日本障害者歯科学会 日本臨床細胞学会 日本頭頸部癌学会

池田 歩	一般歯科 口腔外科			日本口腔外科学会 日本口腔科学会 岐阜歯科学会
------	--------------	--	--	-------------------------------

【病理診断科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
池田庸子	外科病理 人体病理	日本病理学会 日本病理学会 日本臨床細胞学会 日本臨床細胞学会	病理専門医 病理専門医研修指導医 細胞診専門医 教育研修指導医	日本病理学会 日本臨床細胞学会 日本臨床検査医学会 日本神経病理学会 日本癌学会 日本消化器内視鏡学会 日本乳癌学会 日本消化器病学会 日本内分泌学会 日本肺癌学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本脳腫瘍病理学会
川島啓佑	人体病理	日本病理学会 日本病理学会 日本臨床細胞学会	病理専門医 分子病理専門医 細胞診専門医	日本病理学会 日本臨床細胞学会

【放射線科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
伊原 昇	画像下治療（インターベンショナルラジオロジー、IUR）	日本専門医機構 日本医学放射線学会 日本医学放射線学会 日本インターベンショナルラジオロジー学会 日本核医学会	放射線科専門医 放射線診断専門医 研修指導者 IVR 専門医 PET 核医学認定医	日本医学放射線学会 日本核医学会 日本インターベンショナルラジオロジー学会 日本オートプシーイメージング学会
福田千春	画像診断全般	日本医学放射線学会 日本医学放射線学会 日本医学放射線学会 日本乳がん検診精度管理中央機構	放射線科専門医 放射線診断専門医 研修指導者 検診マンモグラフィ読影認定医師	日本医学放射線学会

竹田 太郎	画像診断全般	日本医学放射線学会 日本医学放射線学会	放射線科専門医 放射線診断専門医	日本医学放射線学会 北米放射線学会 The American Roentgen Ray Society 日本腹部放射線学会
高杉美絵子	画像診断全般	日本医学放射線学会 日本医学放射線学会 日本乳がん検診精度 管理中央機構	放射線科専門医 放射線診断専門医 検診マンモグラフィ 読影認定医師	日本医学放射線学会

【回復期リハビリテーション病棟】

医師名	専門分野	取得資格	所属学会	
田中 薫	整形外科一般	日本整形外科学会 日本整形外科学会	整形外科専門医 運動器リハビリテーション医	日本整形外科学会 中部日本整形外科災害外科学会

【中央検査センター】

医師名	専門分野	取得資格	所属学会	
河合 壽一	人間ドック 健診業務	日本人間ドック学会 日本救急医学会 日本外科学会 日本医師会	人間ドック認定医 救急科専門医 認定医 認定産業医	日本人間ドック学会 日本救急医学会 日本外科学会

【まつなみ健康増進クリニック】

医師名	専門分野	取得資格	所属学会	
花立 史香	乳腺疾患	日本外科学会 日本外科学会 日本がん治療認定医機構 日本乳癌学会	認定医 外科専門医 がん治療認定医 乳腺専門医	日本外科学会 日本臨床腫瘍学会 日本乳癌学会 センチネルリンパ節研究会

【人間ドック・健診センター】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
林 慎	内分泌代謝学 (糖尿病・高脂血症)	日本内科学会 日本内科学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 日本病態栄養学会 日本病態栄養学会 日本病態栄養学会 日本病態栄養学会 日本人間ドック学会 日本人間ドック学会 日本人間ドック学会 日本人間ドック学会 日本肥満学会 日本医師会	認定内科医 指導医 専門医 研修指導医 評議員 病態栄養専門医 研修指導医 NST コーディネーター 評議員 人間ドック認定医 専門医 健診指導医 人間ドック健診情報管理指導士 肥満症特例指導医 認定産業医	日本内科学会 日本糖尿病学会 日本病態栄養学会 日本人間ドック学会 日本総合健診医学会 日本肥満学会 日本内分泌学会 日本静脈経腸栄養学会

【介護老人保健施設】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
平山宏史	脳血管障害の リハビリテーション (脳卒中)	日本リハビリテーション医学会 日本脳神経外科学会 日本医師会	認定臨床医 脳神経外科専門医 認定産業医	日本脳神経外科学会 日本リハビリテーション医学会 日本脳神経外科コンgres
岩井知彦	脳卒中	日本脳神経外科学会 日本脳卒中学会 日本医師会	脳神経外科専門医 脳卒中専門医 認定産業医	日本脳神経外科学会 日本脳卒中学会

2022年度機器投資実績（主たるもの）

【機器一覧】

機器備品名：TAVI用CT計測ソフト 製造業者名：アミン株式会社 購入業者：アミン株式会社
機器備品名：空気除菌脱臭器グリーンメイト 56台+15台 製造業者名：株式会社旭東 購入業者：CTM株式会社
機器備品名：ハンフリーフィールドアナライザHFAⅢ更新 製造業者名：カールツァイス株式会社 購入業者：株式会社リイツメディカル
機器備品名：アバンタ インジェクションシステム 製造業者名：バイエル薬品株式会社 購入業者：株式会社フェニックス
機器備品名：GE製Venue Go R3更新 製造業者名：GEヘルスケア・ジャパン株式会社 購入業者：株式会社フェニックス
機器備品名：超音波画像診断装置ARIETTA750VE 製造業者名：富士フイルム株式会社 購入業者：フクダ電子株式会社
機器備品名：術用リニア探触子 L43K 製造業者名：富士フイルム株式会社 購入業者：フクダ電子株式会社
機器備品名：硬性気管支鏡セット（デューモンブロンコスコープ） 製造業者名：原田産業株式会社 購入業者：株式会社八神製作所
機器備品名：超音波診断装置Aplio i700/Prism Edition 製造業者名：キヤノンメディカルシステムズ株式会社 購入業者：コニカミノルタ株式会社
機器備品名：直腸肛門内圧検査システム 製造業者名：スターメディカル株式会社 購入業者：株式会社八神製作所
機器備品名：HEPAファンユニット・HALOパワーシステムとハーフマスク 製造業者名：株式会社モレーンコーポレーション 購入業者：株式会社八神製作所
機器備品名：クリーンパーティション×10台 ACP897 製造業者名：日本エアーテック株式会社 購入業者：井上精機株式会社

<p>機器備品名：解析付心電計 FCP-8400 製造業者名：フクダ電子株式会社 購入業者：フクダ電子株式会社</p>
<p>機器備品名：ホルタ記録器 3台 FM-970・FM-1300 × 2台 製造業者名：フクダ電子株式会社 購入業者：フクダ電子株式会社</p>
<p>機器備品名：個人用透析装置 3台と個人用透析用水作成装置 1台（コロナ患者用） 製造業者名：東レ株式会社 購入業者：株式会社中央メディカル</p>
<p>機器備品名：FUTUS LE（更新） 製造業者名：富士フイルム株式会社 購入業者：フクダ電子株式会社、株式会社ジェイマックシステム</p>
<p>機器備品名：経食道プローブ購入 6VT-D 製造業者名：フクダ電子株式会社 購入業者：フクダ電子株式会社</p>
<p>機器備品名：呼吸機能測定装置（FUDAC-7D） 製造業者名：フクダ電子株式会社 購入業者：フクダ電子株式会社</p>
<p>機器備品名：WEP-1450（後継機種更新） 製造業者名：日本光電工業株式会社 購入業者：CTM 株式会社</p>
<p>機器備品名：ガレリアンルーペ× 5台 +LED ライトセット 製造業者名：株式会社キーラー・アンド・ワイナー 購入業者：株式会社八神製作所</p>
<p>機器備品名：エコー ARIETTA750LE（リース） 製造業者名：富士フイルム株式会社 購入業者：フクダ電子株式会社、株式会社ジェイマックシステム</p>
<p>機器備品名：レーザー血流計 MV-101 製造業者名：株式会社パラマ・テック 購入業者：CTM 株式会社</p>
<p>機器備品名：輸液ポンプ TE-281N × 20台（ケモ室移転に伴う増床用） 製造業者名：テルモ株式会社 購入業者：株式会社八神製作所</p>
<p>機器備品名：マイダスレックス MR8（気道式ハンドピース） 2台 製造業者名：日本メドトロニック株式会社 購入業者：株式会社八神製作所</p>

<p>機器備品名：多機能電動チェア S・SJA-033・B 製造業者名：株式会社オリバー 購入業者：株式会社清芳屋</p>
<p>機器備品名：患者監視装置等 WEP-1400 ZS-640P × 2台 製造業者名：日本光電工業株式会社 購入業者：CTM 株式会社</p>
<p>機器備品名：X線CT装置 Revolution（リース） 製造業者名：GEヘルスケア・ジャパン株式会社 購入業者：GEヘルスケア・ジャパン株式会社</p>
<p>機器備品名：内視鏡システムのカメラヘッド・光源更新（リース） 製造業者名：エム・シー・メディカル株式会社 購入業者：株式会社三輪器械</p>
<p>機器備品名：da Vinci 追加アクセサリ購入 製造業者名：インテュイティブサージカル合同会社 購入業者：株式会社三輪器械</p>
<p>機器備品名：患者監視装置更新 CL2F 処置室分 WEP-1400 ZS-640P × 2台 製造業者名：日本光電工業株式会社 購入業者：CTM 株式会社</p>
<p>機器備品名：電気メス（コンメド HelixAR） 製造業者名：日本メディカルネクスト株式会社 購入業者：CTM 株式会社</p>
<p>機器備品名：輸液ポンプ TE-281N × 27台（補助金） 製造業者名：テルモ株式会社 購入業者：株式会社八神製作所</p>
<p>機器備品名：シリンジポンプ TE-381 × 14台（補助金） 製造業者名：テルモ株式会社 購入業者：株式会社八神製作所</p>
<p>機器備品名：送信機（ZS-630P）10台更新（2022年8月注文分） 製造業者名：日本光電工業株式会社 購入業者：CTM 株式会社</p>
<p>機器備品名：送信機（ZS-630P）10台更新 製造業者名：日本光電工業株式会社 購入業者：CTM 株式会社</p>
<p>機器備品名：HALO パワーシステム × 10台 製造業者名：株式会社モレーンコーポレーション 購入業者：株式会社八神製作所</p>

<p>機器備品名：赤外観察カメラシステム (PDE-neo) 製造業者名：アイ・エム・アイ株式会社 購入業者：CTM 株式会社</p>
<p>機器備品名：ルーカス3 (心臓マッサージシステム) 製造業者名：日本ストライカー株式会社 購入業者：株式会社八神製作所</p>
<p>機器備品名：ルビーレーザー更新 (リース) 製造業者名：株式会社エムエムアンドニーク 購入業者：有限株式会社ケイ・アイ・エス</p>
<p>機器備品名：泌尿器科の膀胱鏡・内視鏡システム更新 VISERA ELITE 製造業者名：オリンパス株式会社 購入業者：株式会社三輪器械</p>
<p>機器備品名：送信機 (ZS-630P) 10 台更新 製造業者名：日本光電工業株式会社 購入業者：CTM 株式会社</p>
<p>機器備品名：血行動態モニタ1式 (ヘモスフィア2) 製造業者名：エドワーズライフサイエンス株式会社 購入業者：エッチエスメディカル株式会社</p>
<p>機器備品名：血行動態モニタ1式 (ヘモスフィア2 ForeSight 付) 製造業者名：エドワーズライフサイエンス株式会社 購入業者：エッチエスメディカル株式会社</p>
<p>機器備品名：北館採血室用採血台 整理券プリンタ 製造業者名：株式会社テクノメディカ 購入業者：株式会社スズケン</p>
<p>機器備品名：麻酔器 (Atlan A300) × 2 式 製造業者名：ドレーゲルジャパン株式会社 購入業者：株式会社メディカルシステムファンクション</p>
<p>機器備品名：解析付心電計購入 FCP-8400 製造業者名：フクダ電子株式会社 購入業者：フクダ電子株式会社</p>
<p>機器備品名：Coro Flow 製造業者名：アボットメディカルジャパン合同会社 購入業者：株式会社フェニックス</p>
<p>機器備品名：尿管鏡の修理不能分下取り交換 製造業者名：エム・シー・メディカル株式会社 購入業者：株式会社三輪器械</p>

松波総合病院
(SOUTH WING:南館) 介護老人保健施設

松波総合病院(NORTH WING:北館)



まつなみ健康増進クリニック

まつなみリサーチパーク

立体駐車場

前岐阜大学長森脇氏
初の特別顧問に就任

蘇西厚生会



一日、特別顧問に前岐阜大学長森脇氏

「蘇西厚生会」は、松波町の松波総合病院を運営する社会医療法人「蘇西厚生会」は、一日、特別顧問に前岐阜大学長森脇氏（写真）が就任したと発表した。岐阜大で発揮した地域創生の知見をもとに、地域医療、介護の取

り組みへ助言を受ける。同法人で特別顧問の就任は初めて。

また岐阜市の十六総合研究所は同日、森脇氏が特別アドバイザーに就任したと発表した。

森脇氏は一九七六（昭和五十一）年に岐阜大医学部を卒業。同大で大学院医学研究科教授、医学部付属病院長を経て、二〇一四年度から八年間、学長を務めた。（高野正憲）

中日新聞 22.4.2



胃がんや食道がん、すい臓がん、肝臓がんなどの手術を行う消化器外科医。最新鋭の内視鏡手術支援ロボット「ダビンチ」を駆使するが、あくまでも「武器の一つ」と強調する。心掛けるのは、患者の状態に応じて最適な手を打つこと。そして、そのための妥協なき学びだ。

岐阜市出身、医師を志したのは「病気になる、自分の体のことなのに何が起きているかわからない。それを知りたい」という興味から、二〇〇〇年に岐阜大医学部を卒業し、岐阜県内の各地の病院で働いてきた。

転機は、当時勤めていた病院で高難度の手術を執刀するようになった〇七年。手順や術後の合併症への対応などを通り、教科書通りにはいかない状況があると知った。国内トップクラスの治療を知ろうと、業務の合間を縫って学会やセミナー、他病院などへ二年二十回ほど通じ、著

松波総合病院（岐阜県笠松町）

外科部長 木村 真樹さん（49）
消化器外科部長



「ダビンチはますます活用の幅を広げると話す木村さん」

「ダビンチはますます活用の幅を広げると話す木村さん」

有名な医師の手術を見学するなど研さんを積んだ。

そのうち、食道がんの手術を学ぶために年四回ほど通ったのが昭和（東京）だ。通常は胸から背中まで大きく切開するが、最先端の技術を持っていた岡大では約五、六の穴をいくつか開けるだけ。痛みが少なく、回復が早い。「質や精度、スピードが違ふ」と実感した。

学んだ技術は岐阜の地で生かして来た。進行がんの治療に大きな力を発揮するダビンチを本格的に扱うようになったのは、一九年に松波総合病院に就任し

てから。体の五カ所に直径一センチほどの穴を開け、ロボットアームを差し込む。先端に付いた鉗子などを操作すれば、内臓の裏側にあるがんも切除できるのが特徴だ。人の手ではできない複雑な動きが可能で、患者の負担が少ない。

今年四月には、ダビンチを使った手術の保険適用範囲が広がった。外科の領域では、結腸の手術にも適用され、ますます活用の機会が増えると期待される。これまで岡大でダビンチを使っていたが、「若い外科医も使えるようにするのが目標」と経験を積んでもらっている。

とはいえ、常に最新の治療法が最速とは限らない。大事なのは、患者の症状や体力を見ながら、選択することだ。「新しい技術を理解し、習得するのは、最適な治療法の選択肢を増やすため」。あらゆる患者を受け入れることを目指し、研究を怠らない。（高野正憲）

「最適な治療」求め続け

中日新聞 22.4.19

「命救いたい」故郷に原点

初期臨床研修医として、笠松町の松波総合病院に入職した町出身で今春東京大医学部を卒業した花村優太さん(25)は20日、同病院の松波英寿理事長と町役場を訪れ、古田聖人町長にあいさつした。



古田聖人町長に意気込みを語った花村優太さん(中央)＝笠松町役場

研修医・花村さん 松波病院へ入職

花村さんは今年2月の医師国家試験に合格。研修医として、今月から同病院で2年間、研修をする。10年ほど前、祖母が同病院に入院した際、「先生らにお世話になり、自分も人の命を救いたいと思うようになった」と花村さんは医学の道を決意。志すきっかけを話した。親しみがあることと「学生の頃、見学した時に先生たちをしっかり面倒を見てもらった。働きやすく、充実した生活ができる」と同病院を研修先に選んだ。花村さんはほかの研修医とともに各科で研修を行い、患者の診察や手術にも立ち会う。「2年間の研修で自分がどの分野に向いているか、将来進む道を決めたい」と語った。古田町長は「故郷に帰ってきてくれてうれしい。日本の医療の発展のため、頑張ってください」と激励した。(長尾剛次)

岐阜新聞 22.4.21

古田町長率に指典を送った花村さん(中央)＝笠松町役場で



笠松の病院で働けるのは光栄

松波総合病院で研修医 町出身花村さん

笠松町出身で先月、東京大医学部を卒業した花村優太さん(25)が、四月から町内の松波総合病院で初期臨床研修医として働いている。10年ほど前に病気で倒れた祖母が同院で治療を受けたことを機に、「自分も人の命を救いたい」と医師を目指したという花村さん。町内の松波小、笠松中、岐阜市の岐阜高を卒業し、東京大医学部に進学した。地元への感謝の思いと職員の面倒見の良さから、研修先に松波総合病院を選んだ。2年間の研修で、どの分野に向いているか、将来進む道を決めたいと語った。(高野正樹)

に松波総合病院を訪問。2年間、各科を回って実際に診察する。

中日新聞 22.4.21

県「清流アスリート強化指定」

104団体と99人選出

県は本年度の「清流アスリート強化指定」に104団体（137部・チーム）、個人



平木省副知事(中央)から強化指定証を受け取った代表者—県庁

99人を選出した。28日、県庁で指定証の交付式があった。

1990年に始まった制度。団体を主とする各種全国大会や国際大会で活躍が期待できるチームや個人を指定し、合宿や遠征費の助成、科学的なサポートなどを行っている。交付式では、平木省副知事が「県民の期待を担い、勇気を与えてほしい」とあいさつし、出席した代表者それぞれに指定証を手渡した。

昨年6月の陸上の日本選手権男子1500mで優勝、7月のホクレン中長距離チャレンジでは日本新記録を樹立した河村一輝（トーエネック、大垣日大高出）は「大きな励みになり、その責任を実感した。国内外の大会で良い結果が残せるように精進したい」と意気込んだ。松波総合病院柔道部の松波英寿総監督は「選手の頑張りは職員の励みになる。団体などで県の役に立てるように頑張りたい」と述べた。

（玉田健太）

【企業】▽ポルト 中部電力岐阜
▽ホッケー ソニーHC▽バドミントン 丸彬ソフトテニス
大津洋工業▽パレーボール J.A
さかひ柔道 松波総合病院▽剣道
日本耐震工業▽卓球 十六銀行
▽フェンシング 大垣共立銀行
▽スキー 岐阜日野自動車▽空手
西濃運輸

岐阜新聞 22.4.29

104団体と99選手に強化指定証を交付

清流アスリート

県内の有力スポーツ団体や選手の強化などを県が支援する「清流アスリート」の強化指定証交付式が二十八日、県庁であった。

百四団体と九十九人の選手が指定された。企業では松波総合病院柔道部、バラ団体では県パレーボール協会が初めて選ばれた。交付式には代表者六人が出席



平木副知事から強化指定証を受け取る河村選手を—県庁で

し、平木省副知事から指定証を受け取った。

昨年の日本陸上選手権の男子1500mで初優勝した池田町出身の河村一輝選手（トーエネック）は「標準記録を切って世界陸上に出場したい」と意気込みを語った。

創部三年目の松波総合病院柔道部の松波英寿総監督は「岐阜県に貢献できるような頑張りたい」と誓った。

（長屋文太）

中日新聞 22.4.29

◇コーヒーで医療従事者応援 新型コロナウイルス感染者の治療に当たる医療従事者を応援しようと、岐阜市六条北の就労継続支援B型事業所アンドワークスが28日、松波総合病院（笠松町）の職員に通所者らが製造したドリッップコーヒー11500袋を贈った。

同院で贈呈式があり、事業所を運営するウィンキャリア（岐阜市）の丹羽久美子代表は「大変な思いで仕事をされている方々に、休養時の安らぎになればと贈ります」とあいさつ。松波英寿理事長は「心のこもった贈り物で、趣意を理解しておいしく飲ませていただきます」と感謝した。



松波理事長室にドリッップコーヒーを手渡す丹羽代表者と通所者ら—笠松町の松波総合病院で

中日新聞 22.4.29



心臓は、全身に酸素を送り込むポンプです。1日10万回、文句も言わず体なしく動いています。全身から心臓に流れてくる血液は、まず右心室に入り、それから右心室を流り肺動脈を流り、左心房、左心室を流り、再び全身に送り出されます。この心臓の4つの部屋を「心房」と「心室」と呼ぶと、この流れを「心房-右心室-左心室-左心房」といって、この流れを「心臓のポンプ作用」といいます。

血液巡らさず 動悸や疲れ

大動脈弁狭窄症



上野 敏己氏

「大動脈弁狭窄症」とは、大動脈弁が硬くなり、開きにくくなる病気です。そのために、心臓は全身に十分な量の血液を送ることができなくなり、動悸や疲れ、息切れなどの症状が現れます。重症になると、脳卒中や心臓発作の原因となります。治療法としては、薬物療法と手術があります。薬物療法は、症状を軽減するための処置ですが、根本的な治療にはなりません。手術は、狭窄した弁を人工弁に置き換えることで、血流を正常に戻すことができます。手術の種類としては、人工弁置換術と弁成形術があります。人工弁置換術は、人工弁を大動脈弁の位置に移植し、狭窄した弁を取り除く手術です。弁成形術は、狭窄した弁を修復し、元の状態に戻す手術です。手術のリスクとしては、出血、感染、血栓症などがあります。手術後の経過としては、人工弁置換術を受けた患者は、抗血栓薬を長期間服用する必要があります。弁成形術を受けた患者は、抗血栓薬を服用する必要はありません。手術後の生活としては、規則正しい生活を送ることが大切です。また、定期的な検診を受けることも重要です。

カテーテル治療で予後良好

大動脈弁狭窄症の治療法として、近年注目されているのがカテーテル治療です。これは、手術をせずに、カテーテルを使って人工弁を大動脈弁の位置に移植する治療法です。カテーテル治療のメリットとしては、手術のリスクが低く、回復が早いことです。また、人工弁置換術に比べて、抗血栓薬を服用する必要がありません。カテーテル治療のデメリットとしては、人工弁の耐久性が人工弁置換術に比べて短いことです。また、カテーテル治療を受けた患者は、定期的な検診を受ける必要があります。カテーテル治療の適応症としては、大動脈弁狭窄症の重症患者、手術のリスクが高い患者、人工弁置換術を受けた患者の再狭窄症などがあります。カテーテル治療のデメリットとしては、人工弁の耐久性が人工弁置換術に比べて短いことです。また、カテーテル治療を受けた患者は、定期的な検診を受ける必要があります。カテーテル治療の適応症としては、大動脈弁狭窄症の重症患者、手術のリスクが高い患者、人工弁置換術を受けた患者の再狭窄症などがあります。

岐阜新聞 22.5.18

Sunday 岐阜人

社会医療法人蘇西厚生会特別顧問 森脇久隆さん(71)＝岐阜市＝



より良い地域医療 専心

岐阜大学長を8年間務め、今年3月末に退任。4月、松波綜合病院（羽島郡笠松町）などを運営する法人の新しいポストに、特別顧問に就任した。学長時代との職場環境の変化に、当初は戸惑ったというが「医療の従事者はさまざまな方と会い、交わることが大事。その点、学長の時の仕事と基本的には変わらない」と語る。

少子化や高齢化などで医師不足が問題になっており、医師の適切な配置など地域医療計画が急がれている。「当院は岐阜圏域南部の地域中核病院。各分野の県内トップクラスの医師がおり、高度医療、救急医療体制を備える当院として、周辺との医療機関と話し合い、地域医療の役割分担などについて、より良い提案をしていきたい」と意気込んでいる。

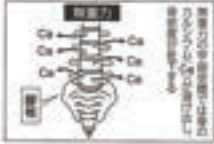
また「これまで当院は高度な臨床データをまとめ、さっしりと論文にして海外の雑誌などに発表している。多忙な民間病院としてはすごいこと」と高く評価。「今後も国際的に発信していきたいと思う。医師たちの論文づくりのお手伝いをしていく」と語る。

岐阜新聞 22.5.29

教えて おもしろい

「無重力」は、地球上で生活する私たちにとって、想像しにくい状態です。宇宙空間では、重力がほとんどゼロの状態になります。この状態では、私たちの身体はどのような変化を遂げるのでしょうか。今回は、宇宙空間での身体の変化について、専門家の話を紹介します。

宇宙空間の身体



宇宙空間では、重力がほとんどゼロの状態になります。この状態では、私たちの身体はどのような変化を遂げるのでしょうか。今回は、宇宙空間での身体の変化について、専門家の話を紹介します。

地球上では、重力によって骨や筋肉が鍛えられ、骨密度や筋力が増えます。しかし、宇宙空間では、重力がほとんどゼロの状態になります。この状態では、骨や筋肉は鍛えられず、骨密度や筋力が低下します。また、宇宙空間では、重力がほとんどゼロの状態になります。この状態では、私たちの身体はどのような変化を遂げるのでしょうか。今回は、宇宙空間での身体の変化について、専門家の話を紹介します。



今井真志氏



国際宇宙ステーションで撮影する航太さん(2020年12月9日撮影)の本人のアイディア

無重力、骨・筋に影響大

カルシウム溶け、尿路結石も

宇宙空間では、重力がほとんどゼロの状態になります。この状態では、私たちの身体はどのような変化を遂げるのでしょうか。今回は、宇宙空間での身体の変化について、専門家の話を紹介します。

地球上では、重力によって骨や筋肉が鍛えられ、骨密度や筋力が増えます。しかし、宇宙空間では、重力がほとんどゼロの状態になります。この状態では、骨や筋肉は鍛えられず、骨密度や筋力が低下します。また、宇宙空間では、重力がほとんどゼロの状態になります。この状態では、私たちの身体はどのような変化を遂げるのでしょうか。今回は、宇宙空間での身体の変化について、専門家の話を紹介します。

県病院協会長に松波氏

松波病院理事長「コロナ対応連携」



県病院協会は24日、岐阜市内で総会と臨時理事会を開き、新たな会長に松波総合病院(羽島郡笠松町)理事長の松波英寿氏(写真)を選んだ。任期は2年。

松波氏は「新型コロナウイルス感染症は、医師会、病院が役割分担して対応し

てきた。今後も、医師会、歯科医師会、看護協会など関係する全ての団体とワンチームで協力していく。県民の健康増進に資するよう尽くす」と抱負を語った。

松波氏は2012年から理事、19年から副会長を務めていた。

県病院協会は県内の病院でつくる。会員数は24日時点で87人。

県病院協会会長に
松波病院の松波氏

県病院協会は二十四日、岐阜市で定時総会を開き、富田栄一会長（岐阜市民病院病院事業管理者）の後任に、松波総合病院（笠松町）理事長で外科医師の松波英寿氏を新たな会長に選んだ。会長就任は初めて。

松波氏は東京医科大学を卒業し、岐阜赤十字病院に勤務。その後は国内外の大学などで講師や客員教授を務めた。二〇〇一年から松波総合病院理事長。

中日新聞 22.6.25

松波総合病院

離れていても顔が見える



患者とウェブ面会

笠松町の松波総合病院では、入院患者の面会に来た家族らが病室に新型コロナウイルスを持ち込むのを防ぐため、タブレット端末の画面越しのオンライン面会が行われている。

家族の「顔が見たい」という要望に応え、生活環境が変わって精神状態が不安定になりがちな患者に安心してもらおうのが狙い。家族の自宅や病院内の別室を、病室とビデオ通話アプリで結ぶ。昨夏から利用が増えているという。

利用者は「画面を通してでも、母の顔が見られて感動した」。整備した草刈裕光副院長（右）は「遠方の人でも、入院患者と会話できるメリットがある。コロナが収束してもニーズはある」と手応えを得ている。



結束直しに入院患者と面会する家族

中日新聞 22.6.30



日本国の冠動脈CT検査は、心臓の冠動脈を造影剤で造影し、CTで撮影する検査です。従来の冠動脈造影検査（カテーテル検査）に比べて、非侵襲的に行うことができ、検査時間も短縮されています。また、造影剤の注入もカテーテルを用いる必要がなく、静脈注射で行うため、痛みや副作用も軽減されています。

狭心症の新しい検査



上野 健己氏

冠動脈CTで簡便に

冠動脈CT検査は、心臓の冠動脈を造影剤で造影し、CTで撮影する検査です。従来の冠動脈造影検査（カテーテル検査）に比べて、非侵襲的に行うことができ、検査時間も短縮されています。また、造影剤の注入もカテーテルを用いる必要がなく、静脈注射で行うため、痛みや副作用も軽減されています。

スパコン使い 虚血の程度推定も

この検査は、心臓の冠動脈を造影剤で造影し、CTで撮影する検査です。従来の冠動脈造影検査（カテーテル検査）に比べて、非侵襲的に行うことができ、検査時間も短縮されています。また、造影剤の注入もカテーテルを用いる必要がなく、静脈注射で行うため、痛みや副作用も軽減されています。

岐阜新聞 22.8.10

お盆の診療機関公表

11、15日 県、医療逼迫備えHPに

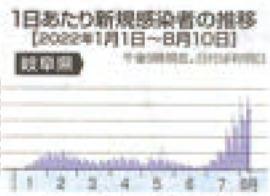
新型コロナウイルスの感染流行の第七波と称される時期が迫り、一部の医療機関が集中するのを避けるため、県は10日、十一、十五日に診療する医療機関を県ホームページ（HP）で公開した。県民への情報提供で重症化などを判定する「陽性者登録センター」も十一日開設し、お盆の医療確保に備える。

陽性者登録センターあす開設



お盆に診療するのは、十一日が六十六機関、十二日が百八十三機関、十三日が百九機関、十四日が六十八機関、十五日が百十二機関、十六日は百十五日は数が多い。

インターネットの検索サイトで「岐阜県陽性者登録センター」を調べ、「お盆期間中の診療機関」を掲載した。県ホームページのホームページ



県内では第七波が最大した七月以降、特に土日、祝日の感染発生が顕著。かかりつけ医のない人が、大きな病院の方が安かたがと救急搬送を繰り返すケースも多い。県はお盆に向け、医療機関の確保に努める。

県内では第七波が最大した七月以降、特に土日、祝日の感染発生が顕著。かかりつけ医のない人が、大きな病院の方が安かたがと救急搬送を繰り返すケースも多い。県はお盆に向け、医療機関の確保に努める。

診療能力を依頼して来た。県民の健康を守るため、お盆期間中の診療機関を公表した。県民への情報提供で重症化などを判定する「陽性者登録センター」も十一日開設し、お盆の医療確保に備える。

中日新聞 22.8.11



今井篤志氏

子宮肉腫は、子宮に発生する良性腫瘍で、年齢が上がるにつれて発生率が高くなる。多くは閉経後には自然に縮小するが、中には悪化する可能性がある。早期発見と適切な治療が重要である。

子宮肉腫

悪性、筋腫と区別難しく



子宮肉腫は子宮に発生する悪性腫瘍で、筋腫と区別が難しい。早期発見と適切な治療が重要である。MRI画像は子宮の増大を示している。

全身転移も、疑いあれば摘出

悪性腫瘍は全身に転移する可能性がある。疑いがある場合は手術による摘出が推奨される。早期発見と適切な治療が重要である。

岐阜新聞 22.8.31

全日本実業個人柔道男子66キロ級



杉浦選手(松波総合)準Vで喜び

県庁を訪問

柔道の全日本実業個人選手権(8月、兵庫県尼崎市)で男子66キロ級に出場し準優勝に輝いた松波総合病院柔道部の杉浦冬唯選手(22)が県庁を訪れ、古田肇知事に今後の活躍を誓った。

杉浦選手は愛知大を卒業後、今年4月から同病院柔道部に所属。事務職で働きながら稽古に励んでいる。同選手権には初出場。

県庁で古田知事から得意技を尋ねられた杉浦選手は、多彩な技の一つにやぐら投げを紹介。やぐら投げは高校3年で練習を始め、大学2、3年の頃に実戦で使えるようになり、昨年度の全日本学生体重別選手権

の準々決勝ではやぐら投げで一本を取ったという。

8、9日に栃木国体成年男子に団体戦の次鋒として、30日には準優勝で出場権を得た講道館杯全日本体重別選手権に挑む。準優勝の悔しさをばねに杉浦選手が「いずれも優勝したい」と誓うと、古田知事は「(県柔道の)トップランナーとして頑張ってほしい」とエールを送った。

(松田尚康)

岐阜新聞 22.10.8



危険業務従事者叙勲(県内)

<p>▽消防署長表彰(30人)</p> <p>消防署長表彰(30人)</p> <p>消防署長表彰(30人)</p>	<p>▽消防署長表彰(30人)</p> <p>消防署長表彰(30人)</p> <p>消防署長表彰(30人)</p>	<p>▽消防署長表彰(30人)</p> <p>消防署長表彰(30人)</p> <p>消防署長表彰(30人)</p>	<p>▽消防署長表彰(30人)</p> <p>消防署長表彰(30人)</p> <p>消防署長表彰(30人)</p>
---	---	---	---

フットケアで 足の潰瘍予防

東海・北陸学術集会

日本フットケア・足病医学会の東海・北陸地方学術集会が岐阜市橋本町のじゅうろくプラザで開かれ、



フットケアの実践などの報告があった学術集会。岐阜市橋本町、じゅうろくプラザ

各地の医師や理学療法士らが症状の事例やケアの実践を発表した。

糖尿病の患者らに起こり

やすい足の潰瘍などの「足病」を予防するフットケアを研究し、技術の向上を旨指す学会。オンラインを含め約300人が参加した。

冒頭で集会の会長を務めた、松波総合病院（羽島郡笠松町）心臓血管外科センター長の熊田佳孝医師が講演。足に潰瘍ができたり壊死したりした患者を多く診るうちに「傷ができる前に介入しなければ」と思い、フットケアの概念を取り入れた」と前身の学会を立ち上げた経緯などを紹介した。

（大賀由貴子）

岐阜新聞 22.10.15

全日本実業柔道個人男子66kg級 杉浦選手が準優勝 笠松町長に喜び報告



古田町長を以て大会での結果を報告した杉浦選手＝笠松町役場で

八月に兵庫県尼崎市であった全日本実業柔道個人選手権大会の男子66kg級で、準優勝を果たした杉浦

冬唯選手（左）＝岐阜市出身、松波総合病院が十三日、笠松町役場を訪れ、古田聖人町長に結果を報告し

た。

笠松町や母校の愛知大（名古屋市）などを拠点に練習を重ねる杉浦選手は同大会で、全日本学生柔道体重別選手権の優勝経験者に一本勝ちするなど躍進。初出場で決勝まで進出した。

古田町長が「岐阜の柔道を引っ張っていく存在に」と期待をかけると、杉浦選手は「まだ相手への対応力が足りない。日本一を目指して頑張る」と、さらなる精進を誓った。

（酒井貴之）

中日新聞 22.10.18

トリアージ 地震に備え



トリアージの訓練に取り組むスタッフら
＝笠松町田代、松波総合病院

笠松町 松波総合病院が訓練

笠松町田代の松波総合病院は、同病院で災害対策訓練を実施し、医師、看護師らスタッフ300人が大規模地震を想定したトリアージの手順を確認した。

南海トラフ沿いを震源とする震度6強の地震が発生、大量のけが人を受け入れる、という想定で実施した。昨年、一昨年のコロナ禍では座学で行っており、実際の訓練は3年ぶり。

軽傷を受け入れる緑、重傷者を受け入れる赤のエリアをそれぞれ設け、けが人を運び込んだ。医師、看護師らスタッフはけがの状況を確認し、対策本部に情報を

岐阜新聞 22.11.10

集約していた。

同病院は2011年に県の地域災害拠点病院に指定されて以降、毎年訓練を行ってきた。救急担当の八十川雄司医師は「久しぶりの実際の訓練で戸惑いもあったが、指揮系統、手順の確認ができたのは成果」と評価した。

訓練は、笠松、岐南町、羽島市、羽島郡広域消防本部、羽島市民病院も協力した。
(三輪真大)

診療計画を電子データで共有 クリニカルパス 普及考える

岐阜市で学会学術集会



クリニカルパス学会で講演する松波総合病院の松波和寿病院長。岐阜市長良福光、長良川国際会議場

第22回日本クリニカルパス学会学術集会が11日、岐阜市長良福光の長良川国際会議場などで始まった。全国の医療関係者ら約1300人が来場し、医師や看護師らが患者の診療計画を電子データなどで共有する「クリニカルパス」の導入や普及などについて考えた。12日まで。

集会は年1回開いており、県内での開催は2009年以来となる。今回はクリニカルパスの運用のほか、AI（人工知能）や仮想空間、メタバースなどの活用についてもシンポジウムやセミナーが開かれる。今回の学術集会で会長を務める松波総合病院（羽島郡笠松町）の松波和寿病院長は、テーマでもあるダイバーシティ（多様性）と

クリニカルパスについて講演。「クリニカルパスはさまざまな職種が多様性を発揮し合うもので、まさにダイバーシティ。組織のパフォーマンス向上や結束力の強化に有効だ」と述べた。会場には仮想現実（VR）技術が体験できるコーナーも設けられ、来場者がゴーグルを着けてダンスやスポーツなどVRの世界を楽しんだ。
(小田香緒里)

岐阜新聞 22.11.12

入院患者の診療計画共有を

岐阜 医療関係者の学術集会



VRを取り入れた診療を実演する松波総合病院のスタッフや学生ら＝岐阜市の長良川国際会議場で

入院患者の複雑な診療過程を「見える化」することなどを旨とする日本クリニカルパス学会の学術集会が十一日、岐阜市長良福光の長良川国際会議場であり、約千三百人の医療関係者が来場した。十二日まで。

クリニカルパスは、入院から退院までの患者の診療計画情報を指す。関係する職員や患者ら全員で情報を共有することで、医療の質向上が期待できる。学会は全国で毎年開かれ、新しい医療のあり方を考える場にもなっている。

この日は、本年度の会長を務める松波総合病院（笠松町）の松波和寿病院長が講演。「医療関係者が実際に会ってディスカッションすることが財産になる」と述べた。

他にもさまざまな講演やブース出展があった。松波総合病院の薬剤師、木村敦さんは仮想現実（VR）の医療への活用を提唱。アバターと呼ばれるキャラクター

を操り、VRで診察する様子を見せ「小児診療に役立てられる」と提案した。VRは室内でも屋外で運動しているような感覚が味わえるとして、リハビリテーションに生かせる可能性も示した。

（長屋文太）

中日新聞 22.11.12

転院搬送の役目担う

松波総合病院、救急車と救急救命士運用へ



松波総合病院の救急車の前で八十川雄樹医師（右端）と活躍を誓う救急救命士＝羽島郡笠松町田代、同病院

消防の負担軽減に期待

医師、クリニックの医師との間で搬送を決めると、松波総合病院は所属の救急救命士を救急車に乗せ、現す連れ、サイレンを鳴らさずに出動する。搬送中も同病棟の医師がカメラで確認

松波総合病院（羽島郡笠松町）は、緊急の必要はないが追加の診察、検査を要する患者を病院の救急車で搬送する取り組みを近く始める。主に同病院への転院搬送での利用を想定。当面、同病院から半径10キロ以内の羽島管内に出動する。県内では珍しい取り組みだといひ、消防の救急車の業務負担軽減へつなげる。（三輪真大）

ずと同病院へと患者を運ぶ。出動先は消防、紹介元の医療機関に限らず、患者は無料で利用できる。これまでは転院搬送の際、患者は消防救急車やタクシーで運ばれていた。病院救急車には利用をためらわず、安心して使えるメリットがある。

本格的な運用に先立ち、同病院は2018年から21年にかけて笠松町限定で試行していた。今後はより広域の需要を見込み、同郡の岐阜市にも広げて運用する。

増元消防によると、2019、21年の転院搬送は年間99、157件で増移。病院救急車の本格導入により、消防の救急救命士が余裕を持って業務に当たれる環境づくりにつなげたと考えた。同病院には救急救命士らが所属しており、救急担当の八十川雄樹医師は「救急救命士の活躍の場を広げられれば」と期待する。

近く、羽島郡医師会所属の医師、クリニックへ資料を配り利用を呼びかける。

岐阜新聞 22.11.21

教えて 中井篤志

高血圧のカルシウムの吸収促進...
カルシウムは骨を構成する主要な成分であり、不足すると骨密度が低下し、骨折のリスクが高まります。カルシウムの吸収は胃酸やビタミンDの働きによって促進されます。...

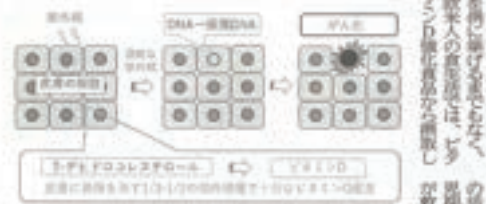
ビタミンD



栄養士 今井篤志氏

皮膚に日光当たり生成

ビタミンDは皮膚に日光が当たると生成されます。日光の紫外線B波が皮膚中の7-デヒドロコレステロールを照射すると、ビタミンD3に変換されます。...



ビタミンDは腸からのカルシウム吸収を促進し、骨密度を維持する役割があります。不足すると骨粗鬆症のリスクが高まります。...

腸からカルシウム吸収促進

腸からのカルシウム吸収を促進するには、ビタミンDとマグネシウムが重要です。また、乳酸菌や食物繊維も腸の健康をサポートし、カルシウムの吸収を助けます。...

岐阜新聞 22.11.23

松波病院にAED贈る

国際クラブレットルトご飯も

財団法人国際クラブ(羽島市福寿町)は、笠松町田代の松波総合病院に自動体外起震器(AED)2台、レットルトご飯300個を寄贈した。



松波総合病院に届けられた青山英樹さん(中央)と笠松町田代、国際クラブ

AEDは活用を願い2020年創部の柔道部へ、レットルトご飯は激励の意味を込め臨床研修医へそれぞれ贈った。同法人代表理事の青山英樹さんが病院を訪れ、運営法人の社会医療法人緑西厚生会の松波英海理事長、臨床研修医代表の花村優太さんにそれぞれ手渡した。青山さんは「柔道部がさらに活躍し、研修医の皆さんが万全の環境で勉強に励むことを期待している」と述べ、松波理事長は「早く開場する柔道場にAEDを贈る考えを示し、感謝した。」(三輪真大)

岐阜新聞 22.12.9

肥満治療「医師と相談を」



「自分の力で正しいダイエット」と題して講演する松波英寿さん。笠松町田代、松波総合病院

蘇西厚生会 笠松で健康増進講演

専門の「肥満外来」を備える笠松町田代の松波総合病院は、肥満治療講演会を同病院で開き、運営法人蘇西厚生会理事長の松波英寿さんが「自分の力で正しいダイエット」と題して講演した。

松波さんは、肥満と大きく関連する要因として、糖質や遺伝、ホルモン、

肥満外来を開設。健康増進を目的に肥満解消のさまざまな取り組みを展開している。講演会はその一環で、今回は第4回。(三輪真大)

岐阜新聞 23.2.8

基礎代謝を細かく解説。体重の増減と脳の働きにも触れ「体に害を与えないためにも、医師と相談しながら正しいダイエットをしてほしい」と呼びかけた。

第2部は、管理栄養士監修の低エネルギー食材を使った減量メニューを紹介した。同病院は2019年、

笠松町にEV贈る

松波病院 名誉院長「健康増進に役立てて」



電気自動車を寄贈した松波英一さん(左)＝笠松町田代、松波総合病院

松波総合病院名誉院長の松波英一さんが1日、笠松町へ電気自動車(EV)1台(300万円相当)を寄贈した。松波さんは一昨年12月、町の名誉町民に選ばれた。お礼の意味を含め、子育て

支援、公衆衛生の推進に役立ててもらおうと贈った。町は赤ちゃん訪問や各種の健康、訪問指導にEVを活用する。

同町田代の同病院支院前で寄贈の式典があり、松波さんが古田聖人町長に目録を手渡した。同席した運営法人の松波英寿理事長は「町民の健康増進に役立ててほしい」と願った。

感謝状を手渡した古田町長は「松波総合病院の確を作られた功績は偉大だ」と語り、コロナ禍で感染症治療に尽力した病院に感謝した。(三輪真大)

岐阜新聞 23.3.2

月経異常、不妊症の原因

多発性卵巣症候群



金井真志氏

生涯にわたり影響、早期対処を

多発性卵巣症候群(PCOS)は、月経不調や不妊症の原因となる。早期に対処することが重要である。

岐阜新聞 23.2.22

肺がん診療など強化、AIも導入

外科専門医増、来月に新設

松波総合病院に 呼吸器センター



AIが病変の候補として指摘したX線画像。四角の部分候補として挙げている

松波総合病院（羽島郡笠松町）は4月、呼吸器センターを新設する。呼吸器内科、同外科、放射線治療科で構成し、肺がんをはじめとした呼吸器疾患の診療体制を強化する。（三輪真大）

人以上在籍する医療機関は県内では開院を含め4病院しかないという。さらに常勤医として放射線治療の専門家を招き、強化する。新たに迎える呼吸器外科専門医は、岐阜市市民病院の呼吸器外科部長を務めた医師。センター長には呼吸器内科部長の坂本隆医師を、副センター長には呼吸器外科部長の春日井敏夫医師をそれぞれ充てる。



X線画像の検査結果を元に再検査したCT画像。腫瘍が異なっていたという点も松波総合病院で確認

センターの設立を準備に2月には胸部X線画像の読み取りを担当する人工知能（AI）システムを導入。27年から手術支援ロボットの「ダヴィンチ」を肺がん手術にも適用しており、設備も強化している。坂本部長は「呼吸器疾患の診療の環境がここ数年で変わった。症例を増やし、センターとして高みを目指したい」と話す。放射線治療の最新の装置も新たに導入する予定という。

岐阜新聞 23.3.28



胸部エックス線画像をAIで解析するシステムについて説明する坂さん。笠松町開院中の松波総合病院で

松波総合病院

呼吸器センター新設

あす手術ロボやAI活用

笠松町の松波総合病院は四月一日、肺がんや肺炎、呼吸不全などの呼吸器疾患の治療にあたる呼吸器センターを新たに開設する。呼吸器内科、呼吸器外科、放射線治療科の専門医七人が常勤し、連携して高度医療の提供や疾患の早期発見に取り組む。（高野正徳）

地域には高齢者が多く、呼吸器疾患を抱える患者も多い。四月に呼吸器外科に専門医一人が加わって二人体制となり、人員が充実することからセンターの新設が決まった。呼吸器外科の専門医が複数いる病院は、県内では開院を含めると四カ所のみ。

センターでは専門性を生かした治療方法を提供。例えば、肺がんや食道がんで気腫が広がって強い呼吸困難を訴える患者には「硬性気管支鏡」という道具を使い、気道を確保して首瘤を取り除いて治療する。県内の病院でこの治療に対応しているのは三カ所のみで、開院が治療数で最も多くなっている。

肺がん手術では、手術支援ロボットの「ダヴィンチ」X線の利用を進める。体に小さな穴を開けるだけで手術できるため、患者の負担が少なく術後の回復も早い。開院では昨年から肺がん治療での稼働が始まり、稼働を重ねたことから、四月から保険診療が適用されることになった。

中日新聞 23.3.31